Vol.8
教育ガイド

あなたの
「スキルアップ
「キャリアアップ」を応援します

エイジェックグループ

【推奨資格取得支援制度】

【制度概要】 推奨資格を取得した場合に、報奨金が支給されます。

◆対象者 ： エイジェックグループの社員であり、エイジェックグループが推奨する各種資格を取得した後、業務に活かせる、あるいはキャリアチェンジに伴う職場変更が可能または見込みがある者。

※ ただし以下の場合、推奨資格取得支援制度は適用しない。

- グループに入社した時点で、既に推奨資格を保有
- グループ会社にて別の補助がある
- 上位資格保持者が同一資格の下位資格取得

◆費用 ： **推奨資格取得に伴う費用は、全額自己負担とする。**

- 講座受講料
- Ｗｅｂ講座等の通信費
- レポート、テスト、願書提出の郵送費
- ＰＣ、ＤＶＤ等の講座を受講する為のインフラ準備費
- 各教育機関へ通学する際の交通費
- 受験料、印紙代、証明写真代
- 各教育機関、試験実施機関への支払いに伴う振込手数料　等

◆報奨金 ： 各種エイジェックグループ推奨資格を取得した際、資格難易度に応じて報奨金を支給する。（適用：2024年4月1日以降申請分より）

［基礎］　１０，０００円　　［初級］　３０，０００円
［中級］　５０，０００円　　［上級］　８０，０００円
［難関］１００，０００円

◆申請 ： 事前申請。（受験１週間前まで）
専門職はAGKグループ担当営業、内勤社員は所属長に連絡/相談の上、申請してください。

◆申請方法 ： StaffExpressNEO（一般専門職）
社内案内板（内勤社員）

【エイジェックグループ　推奨資格一覧1/2】

		建設		技能	保全	技術	警備
		資格名称	資格名称	資格名称	資格名称	資格名称	資格名称
推奨資格	難関（10万円）	一級建築士		職業訓練指導員（各種）	特級 機械保全技能士（機械）	第二種電気主任技術者	
		技術士			1級 機械保全技能士（電気）		
		RCCM			特級 機械検査技能士		
		コンクリート診断士			1級 機械検査技能士		
					産業用ロボット 特別教育インストラクター		
	上級（8万円）	二級建築士	1級 舗装施工管理技術者	特級 半導体製品製造技能士	2級 機械保全技能士（機械）	第三種電気主任技術者	警備員指導教育責任者
		1級 建築施工管理技士	建築CAD検定 準1級	エネルギー管理士	2級 機械保全技能士（電気）	3次元CAD利用技術者試験 1級	交通誘導警備業務検定 1級
		1級 土木施工管理技士		第一種電気工事士	2級 機械保全技能士（設備診断）	3次元CAD利用技術者試験 準1級	雑踏警備業務検定 1級
		1級 管工事施工管理技士		第一種冷凍機械責任者	2級 機械検査技能士	機械設計技術者 1級	施設警備業務検定 1級
		1級 電気工事施工管理技士		1級 電気機器組立て技能士		第一級陸上特殊無線技士	
		1級 造園施工管理技士		半導体技術者検定 エレクトロニクス2級		生産技術者マネジメントスキル認定 資格 CPE-A級	
		1級 電気通信工事施工管理技士					
		1級 計装士					
		建築設備士					
		コンクリート技士、主任技士					
		JR工事管理者（在来・新幹線）					
	中級（5万円）	測量士	2級 建築施工管理技士	1級 半導体製品製造技能士	3級 機械保全技能士（機械）	2次元CAD利用技術者試験 1級（機械）	
		宅地建物取引士	2級 土木施工管理技士	一級 ボイラー技士	3級 機械保全技能士（電気）	2次元CAD利用技術者試験 2級	
		技術士補	2級 管工事施工管理技士	第二種電気工事士	3級 機械検査技能士	電気通信主任技術者 （伝送交換主任技術者部門）	
		1級 建築施工管理技士補	2級 電気工事施工管理技士	第二種冷凍機械責任者	マイクロソルダリング技術資格 （はんだ付）	機械設計技術者 2級	
		1級 土木施工管理技士補	2級 造園施工管理技士	2級 電気機器組立て技能士		建築物環境衛生管理技術者	
		1級 管工事施工管理技士補	2級 電気通信工事施工管理技士	半導体技術者検定 エレクトロニクス3級		第二級陸上特殊無線技士	
		1級 電気工事施工管理技士補	2級 計装士			生産技術者マネジメントスキル認定 資格 CPE-B級	
		1級 造園施工管理技士補	2級 舗装施工管理技術者				
		1級 電気通信工事施工管理技士補	建築CAD検定 2級				
		1級 建設業経理士					
		BIM利用技術者試験 準1級/1級					
		消防設備士　甲種： 特類，1～5類					
		消防設備士　乙種：1～7類					
		インテリアコーディネーター					
	初級（3万円）	建築設備検査員	建築CAD検定 3級	2級 半導体製品製造技能士	1級 自主保全士	3次元CAD利用技術者試験 2級	交通誘導警備業務検定 2級
		測量士補	カラーコーディネーター （スタンダードクラス）	二級ボイラー技士	3級 ロボットＳＩ検定	機械設計技術者 3級	雑踏警備業務検定 2級
		建築積算士	カラーコーディネーター （アドバンスクラス）	第三種冷凍機械責任者			施設警備業務検定 2級
		2級 建築施工管理技士補		3級 電気機器組立て技能士			
		2級 土木施工管理技士補					
		2級 管工事施工管理技士補					
		2級 電気工事施工管理技士補					
		2級 造園施工管理技士補					
		2級 電気通信工事施工管理技士補					
		2級 建設業経理士					
		BIM利用技術者試験 2級					
	基礎（1万円）						ＪＡＤＰ認定メールマナーインストラクター資格

【エイジェックグループ　推奨資格一覧2/2】

		接遇	IT		R&D	事務 他	コンサルティング
		資格名称	資格名称	資格名称	資格名称	資格名称	資格名称
推奨資格	業開（10万円）		情報処理安全確保支援士			社会保険労務士	中小企業診断士
			Microsoft Certified: Azure Solutions Architect Expert			行政書士	ITサービスマネージャ試験（SM）
			Google 認定 Professional Data Engineer				プロジェクトマネージャ試験（PM）
			Google 認定 Professional Cloud Developer				ITストラテジスト試験（ST）
			Oracle Certified Java Programmer, Gold SE11 (Available only in Japan) 認定資格				PMP資格（Project Management Professional）
	上級（8万円）	TOEIC公開テストスコア 800点以上	応用情報処理技術者試験	統計検定 1級		日商簿記検定試験 1級	キャリアコンサルタント
		ｺﾝﾀｸﾄｾﾝﾀｰ検定試験 ｱｰｷﾃｸﾁｬ資格(CAP)	ｼﾆｱﾓﾊﾞｲﾙｼｽﾃﾑｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ（SMC）	統計検定 準1級		1級 ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙ･ﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ技能士	kintone CERTIFIED カイゼンマネジメントエキスパート
			Cisco Certified Network Professional(CCNP)	AWS認定資格 アドバンスネットワーキング-スペシャリティ		全国通訳案内士	企業経営アドバイザー
			ORACLE MASTER Silver	AWS認定資格 DevOpsエンジニア-プロフェッショナル		文書情報管理士 上級	プログラムマネジャー・レジスタード（PMR）
			Microsoft Certified: Azure Developer Associate	AWS認定資格 SAP on AWS-スペシャリティ		国際秘書検定	ビジネス・キャリア検定試験 1級
			Microsoft Certified: Azure Administrator Associate			貿易実務検定 A級	
			Google 認定 Professional Cloud Architect			通関士	
			E資格			kintone CERTIFIED システムデザインエキスパート	
	中級（5万円）	TOEIC公開テストスコア 700点以上	基本情報技術者試験	統計検定 専門統計調査士	上級 バイオ技術者	日商簿記検定試験 2級	PMOスペシャリスト(★★) 認定資格
		ｺﾝﾀｸﾄｾﾝﾀｰ検定試験 ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ資格(OMP)	情報セキュリティ管理士認定試験	統計検定 2級		日商PC検定 1級（文書, データ, プレゼン）	プロジェクトマネジメント・スペシャリスト（PMS）
		接客販売技能士 1級	ﾓﾊﾞｲﾙｼｽﾃﾑ技術検定試験(MCPC) 1級	AWS認定資格 データベース-スペシャリティ		2級 ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙ･ﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ技能士	ビジネス・キャリア検定 2級
			Cisco Certified Network Associate(CCNA)	AWS認定資格 セキュリティ-スペシャリティ		証券外務員 1種	
			LinuC Lv2 (LPIC Lv2)	AWS認定資格 機械学習-スペシャリティ		第一種衛生管理者	
			ORACLE MASTER Bronze			医療通訳技能認定試験	
			.comMasterADVANCE☆☆			秘書技能検定 1級	
			PHP技術者認定 上級、準上級試験			文書情報管理士 1級	
			Microsoft Certified Azure Fundamentals			ビジネス実務法務検定 1級	
			Google 認定 Associate Cloud Engineer			VBAエキスパート Excel VBAスタンダード	
			Oracle Certified Java Programmer, Siver SE 11 (Available only in Japan) 認定資格			貿易実務検定 B級	
						kintone CERTIFIED アプリデザインスペシャリスト	
						kintone CERTIFIED カスタマイズスペシャリスト	
	初級（3万円）	TOEIC公開テストスコア 600点以上	ITIL ファンデーション	統計検定 3級	中級 バイオ技術者	日商簿記検定試験 3級	PMOスペシャリスト(★) 認定資格
		サービス接遇検定 1級	LinuC Lv1 (LPIC Lv1)	統計検定 データサイエンスエキスパート	危険物取扱者 甲種	日商PC検定 2級（文書, データ, プレゼン）	プロジェクトマネジメント・コーディネータ（PMC）
		ｺﾝﾀｸﾄｾﾝﾀｰ検定試験 ｽｰﾊﾟｰﾊﾞｲｻﾞｰ資格(SV)	.comMasterADVANCE☆	AWS認定資格 ディベロッパー-アソシエイト		医療事務（各種）	Micorosoft認定：Power BI データ アナリスト アソシエイト
		接客販売技能士 2級	PHP技術者認定 初級試験	AWS認定資格 SysOps アドミニストレーター-アソシエイト		医師事務作業補助者	Micorosoft認定：Power Automate RPA Developer Associate
		建築設備検査員	ﾓﾊﾞｲﾙｼｽﾃﾑ技術検定試験(MCPC) 2級	AWS認定資格 ソリューションアーキテクト-アソシエイト		3級 ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙ･ﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ技能士	ビジネス・キャリア検定 3級
			G検定			証券外務員 2種	
			Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE (Available only in Japan) 認定資格			MOS Excel Expert	
						MOS Word Expert	
						第二種衛生管理者	
						秘書技能検定準1級	
						文書情報管理士 2級	
						ビジネス実務法務検定 2級	
						VBAエキスパート Excel VBAベーシック	
						貿易実務検定 C級	
						kintone CERTIFIED アソシエイト	
	基礎（1万円）		.comMasterBASIC	統計検定 統計調査士	危険物取扱者　乙種：1類～6類	FUNDAMENTALS 認定資格 Microsoft 365 Certified: Fundamentals	ＪＡＤＰ認定メールマナーインストラクター資格
			ITパスポート試験	統計検定 データサイエンス基礎		ASSOCIATE　認定資格 Microsoft 365 Certified: Teams Administrator Associate	FUNDAMENTALS　認定資格 Microsoft Power Platform Fundamentals
			情報セキュリティマネジメント試験	統計検定 データサイエンス発展		MOS PowerPoint Specialist	プロジェクトマネジメント・アソシエイト認定資格(PJM-A)
				AWS認定資格 クラウドプラクティショナー		MOS Excel Specialist	ビジネス・キャリア検定試験 BASIC級
						MOS Word Specialist	

推奨資格詳細

	建設				
資格名	建築士	技術士(補)	RCCM	コンクリート診断士	施工管理技士(建築・電気)
概要	建築士資格は、一級建築士、二級建築士及び木造建築士の３資格があります。 それぞれの建築士は「建築士の名称を用いて、建築物に関し、設計、工事監理その他の業務を行う者をいう」と定義されています。 各々の資格により、取り扱える建築物の種類・規模が異なります。 建築物の設計及び工事監理は公共の安全に重大な影響をもたらため、建築士受験要件して、一定の教育と経験が必要となります（資格ごとに各詳細条件有り）。 また建築業務は、建築計画にて設定された構想に従い、建築物の形状・材質を決定していくために、意匠、構造、設備、積算が専門分化しています。	「技術士」は、国によって科学技術に関する高度な知識と応用能力が認められた技術者で、科学技術の応用面に携わる技術者にとって最も権威のある国家資格です。 「技術士」は、産業経済、社会生活の科学技術に関するほぼ全ての分野に関する21の技術部門に分類されています。 さらに、「技術士」は、「技術士法」により高い技術者倫理を備え、継続的な資質向上に努めることが責務となっています。 技術士資格の条件として、技術士補として、技術士の指導の下で、4年（総合技術監理部門は7年）を超える実務経験が必要となります。	建設コンサルタント等業務に関わる責任ある技術者として、管理あるいは照査の責任者となるシビル コンサルティング マネージャー（RCCM）は、平成7年9月の「公共土木設計業務等標準委託契約約款」および同「共通仕様書」の改定に伴い「管理技術者」および「照査技術者」として明確に位置付けられました。 「RCCM」の役割は、設計業務共通仕様書等(国土交通省等)において規定されている管理技術者、照査技術者又は業務担当者として、業務の適正な執行を管理、業務成果の照査、および業務に関する技術上の事項の処理の任にあたるものです。 「RCCM」に要求される能力は、設計業務の特質を理解し円滑、適正に業務を進めるための技術管理能力と当該専門分野の技術力です。したがって資格更新にはCPD(継続教育)制度が義務付けられています。	建設で使われるコンクリートを診断できる資格です。 問題を発見した場合、補修や補強を促します。 コンクリート技士・主任技士などのこれまでのコンクーリート関連の資格が、新規の構造物に使用するコンクリートの設計・製造・施工を主としているのに対し、コンクリート診断士は既存のコンクリート構造物を対象とするところに特徴があります。 コンクリート診断に必要な能力としては、コンクリート構造物の診断のための計画・調査・測定、評価及び判定に関する知識と維持管理の提案のための進行予測と各種対策の効果の予測などの知識が必要とされます。	建設工事に従事する者の技術力の向上を図るため、建設業法第27条に基づく技術検定で「建築施工管理技術検定」及び「電気工事施工管理技術検定」を実施しています。 ・建築施工管理技術 建築一式工事の実施に当たり、その施工計画及び施工図の作成並びに当該工事の工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理を適確に行うために必要な技術 ・電気工事施工管理技術 電気工事の実施に当たり、その施工計画及び施工図の作成並びに当該工事の工程管理、品質管理、安全管理等工事の施工の管理を適確に行うために必要な技術 技術検定は、1級と2級に区分され、第一次検定及び第二次検定によって行われます。 第一次検定の合格者には「施工管理技士補」、第二次検定の合格者には「施工管理技士」の資格が付与されます。
受験資格	学歴または資格に加え、一定の実務経歴を有する者	一次試験は特になし 二次試験は一次を合格し技術士補として実務経験４年以上(指導技術士の下で)また、総合技術監理部門を受けたい場合は実務経験が７年以上必要。	下記実務経験年数が必要 大学院：5年以上 大学：7年以上 短大および高専：9年以上 高校：11年以上 中学：14年以上	・コンクリート診断士講習eラーニング受講必須 ・学歴または資格に加え、一定の実務経歴を有する者	受験種別に応じた受験資格を満たす者 （2級施工管理技術の第1次検定は、受験前年度3月31日時点で満17歳以上）
問合せ先	公益財団法人 建築技術教育普及センター TEL.03-6261-3310	公益社団法人 日本技術士会試験・登録部 TEL.03-6432-4585	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 ＲＣＣＭ資格制度事務局 TEL.03-3221-8855	公益財団法人 日本コンクリート工学会 TEL 03-3263-1571	一般財団法人 建設業振興基金 TEL.03-5473-1581

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	建設				
資格名	施工管理技士 （土木・管工事・造園） （電気通信工事）	計装士	建築設備士	コンクリート技士・主任技士	JR工事管理者 （在来・新幹線）
概要	建設工事に従事する者の技術力の向上を図るため、建設業法第27条に基づく技術検定で「土木施工管理技術検定」「管工事施工管理検定」「造園施工管理技術検定」及び「電気通信工事施工管理技術検定」を実施しています。 ・土木施工管理技術 橋や鉄道、道路など土木工事に従事する施工管理技術者資格 ・管工事施工管理技術 電気・空調配などの管工事に従事する施工管理技術者資格 ・造園施工管理技術 造園工事に従事する施工管理技術者資格 ・電気通信工事施工管理技術 電気通信線路/機械、情報制御設備、防犯カメラ、火災報等の設備を扱う技術者資格 技術検定は、1級と2級に区分され、第一次検定及び第二次検定によって行われます。 第一次検定の合格者には「施工管理技士補」、第二次検定の合格者には「施工管理技士」の資格が付与されます。	計装士は国家資格に準ずる資格（建設業法施行規則第７条の3（平成１８年４月施行））で国の制度に組み込まれています。組み込まれているというのは、国または国に準ずる機関が試験を実施し、資格者を国が認定する資格であるということです。 計装士は、計装制御機器を設置する専門家で、計測制御機器の取付工事や、付随する配管および配線工事の設計・監督を行います。 計装士の資格は建築施工会社や電気設備会社といった計装工事を行う会社で実務経験を積んだ人が取得することができます。 計装は、工場や高層ビルなどあらゆるジャンルの建築工事で用いられる技術であるため、計装士の資格は幅広いシーンで活用することができます。	建築設備士試験(登録学科試験及び登録設計製図試験)は、建築士法施行規則第17条の18の規定に基づき、国土交通大臣の登録を受けた公益財団法人建築技術教育普及センターが実施しているものです。 建築設備士は、建築設備全般に関する知識及び技能を有し、建築士に対して、高度化、複雑化した建築設備の設計及び工事監理に関する適切なアドバイスを行える資格者として位置付けられています。 建築士が延べ面積2,000平方メートルを超える建築物の建築設備に係る設計又は工事監理を行う場合には、建築設備士の意見を聞くよう努めなければならないとされ、建築士が、大規模の建築物その他の建築物の建築設備に係る設計又は工事監理を行う場合において、建築設備士の意見を聞いたときは、設計図書又は工事監理報告書において、その旨を明らかにしなければならないとされています。	「コンクリート技士」および「コンクリート主任技士」の試験制度は、コンクリートの製造、施工等に携わっている技術者の資格を認定して技術の向上を図るとともに、コンクリートに対する信頼性を高め、建設産業の進歩・発展に寄与することを目的として創設されました。 コンクリート技士、主任技士の資格は、コンクリート診断士試験の受験資格要件の一つとなっています。 「コンクリート技士」は、コンクリートの製造、施工、配(調)合設計、試験、検査、管理および設計など、日常の技術的業務を実施する能力のある技術者です。 「コンクリート主任技士」は、コンクリート技士の能力に加え、研究および指導などを実施する能力のある高度の技術を持った技術者です。	JRの施設関係工事従事者資格の一つで、線路内や線路付近で工事を行う際に必要とされる資格です。 ＪＲ工事管理者は、列車見張員を統括管理して非常時には列車を停止させる手配を取ります。作業員の安全管理や工事現場の品質管理など現場監督としての作業も行います。ＪＲ西日本管内で、線路に近接して作業する場合は、工事管理者及び、列車見張員等の配置が必要になります。 工事管理者資格は、日本鉄道施設協会が主催する保安講習を受講して合格したものに発行される民間資格です。また、建設関連会社在籍３～５年以上うち１年以上は、JR営業線近接工事の実務経験が必要となっています。 JR担当者との施工に関する打合せ表の取り交わし、施工当日の列車の運転状況の確認、作業員の待避状況確認、列車見張員への指示など、様々な業務をこなします。
受験資格	受験種別に応じた受験資格を満たす者 （2級施工管理技術の第1次検定は、受験前年度3月31日時点で満17歳以上）	1級：計装工事の設計・施工の実務経験年数5年以上 2級：計装工事の設計・施工の実務経験年数2年以上	下記区分のいずれかに該当する者 ・学歴+実務(学歴で異なる) ・資格+実務(2年以上) ・実務のみ(9年以上) ・上記と同等以上の知識及び技能を有すると認められる者	学歴または資格に加え、一定の実務経歴を有する者	学歴または資格に加え、一定の実務経歴を有する者
問合せ先	一般財団法人全国建設研修センター試験業務局 土木試験課 042-300-6860 管工事試験課 042-300-6855 造園試験課 042-300-6866 電気通信工事試験課 042-300-0205	一般社団法人日本計装工業会 TEL.03-5846-9165	公益財団法人建築技術教育普及センター TEL.03-6261-3310	公益社団法人日本コンクリート工学会 TEL.03-3263-1571	一般社団法人日本鉄道施設協会 TEL03-5846-5300

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	建設				
資格名	舗装施工管理技術者	建築CAD検定	測量士（補）	宅地建物取引士	建設業経理士
概要	舗装は、道路を構成する各種構造物の中にあって、直接その上に歩行者あるいは車両を載せる最も重要な部分を構成しています。また、この舗装の施工の良否は、供用性、耐久性および周辺環境等に種々の影響を与えます。 このため、舗装工事の施工に従事する技術者は、一般土木工事とは異なる表面性状、安定性および耐久性の確保といった舗装工事特有の専門的な深い知識が要求されています。また、厳しい交通規制条件や限られた作業空間といった施工環境に迅速かつ的確に対処できる豊富な施工経験が不可欠となっています。さらに、利用者の高齢化、沿道住民および利用者のニーズの多様化、高度化等に対応するための新しい材料、工法、機械・装置の導入など高度な舗装技術の開発・活用が強く望まれています。 試験は1級・2級があり、1級の方が高い技能を持つことが証明されます。 一般社団法人 日本道路建設業協会が実施する試験に合格し、登録を申請したものに資格者証が交付されます。	建築CAD検定試験は、建築用図面をCADを使って描く技量を測るもので、1993年に誕生した日本初の建築CADの資格試験です。 等級は准1級・2級・3級・4級で構成され、社会から求められる「実践型の実技試験」という点が大きな特徴です。 試験は、自らの建築知識をもとに与えられた条件のもと、建築一般図を作成する実力を測る、あるいは与えられた建築図面をCADシステムを使って正しくトレースする技能を測るなど、CAD技術のみでなく基礎的な建築知識が必要です。 ※4級試験は高校の団体受験のみ実施。	測量士・測量士補試験は、測量法及び測量法施行令に基づいて行われる国家試験です。 測量士となるのに必要な専門的学識及び応用能力を有するかどうか、また、測量士補となるのに必要な専門的技術を有するかどうかを判定します。 試験に合格すれば、それぞれ測量士又は測量士補となる資格を取得できます。	土地や建物の売買、賃貸物件のあっせんなどをするために必要な国家資格です。 宅地建物取引業を営もうとする者は、国土交通大臣又は都道府県知事の免許を受ける必要があり、免許を受けるに当たり、その事務所その他国土交通省令で定める場所ごとに、事務所等の規模、業務内容等を考慮して、国土交通省令で定める数の成年者である専任の宅地建物取引士を置かなければならないとされています。 宅地建物取引士の業務は、宅地建物取引業法第35条に定める重要事項の説明、重要事項説明書への記名押印及び同第37条に定める書面（契約書等）への記名押印を行います。	建設業経理士検定試験は、登録経理試験の実施機関として国土交通省より登録証の交付を受け、本財団が実施する検定試験です。 建設業者が健全な発展を図るうえで、適正な経理と計数を行うことは必要不可欠である一方、建設業は受注産業であり会計処理に特殊な点が多いことから、財務・経理の担当者は高い専門性が求められます。 建設業経理に関する知識の向上を図ることを目的としており、中でも1級、2級合格者は、公共工事の入札可否の判断の資料となる経営事項審査の評価対象の1つになっています。 なお、平成19年3月11日の試験以後の1・2級合格者は建設業経理士となり、それ以前の合格者は建設業経理事務士となります。
受験資格	受験資格は希望する級、学歴や取得資格などにより異なり、 舗装施工管理に関する実務経験の必要年数が必要となる。	特になし	特になし	特になし	特になし
問合せ先	（一社）日本道路建設業協会　塗装技術者資格試験委員会 TEL:03-6280-5038	一般社団法人 全国建築CAD連盟 TEL.052-962-5544	国土交通省 国土地理院総務部総務課 試験登録係 TEL.029-864-4151 029-864-4265	一般財団法人 不動産適正取引推進機構 TEL.03-3435-8181	一般財団法人建設業振興基金 TEL.03-5473-4581

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	建設				
資格名	BIM利用技術者試験	消防設備士(甲種)特類、１～5類	消防設備士(乙種)１～７類	インテリアコーディネーター	建築設備検査員
概要	BIM利用技術者試験は、建築業界や建設業界で注目されている「BIM（Building Information Modeling：ビルディング インフォメーション モデリング）」の人材育成の指針・目標となる新たな資格制度です。 この試験は、BIMの技術や知識を体系化し、企業がBIM人材を獲得する際にどの知識や技術を求めているかを視覚化することを目的としています。 BIM利用技術者試験では、BIMの知識と技術の両面を評価し、「BIM力」を証明することができます。 試験は、準１級、１級、および2級のレベルで実施されており、建築系・建設系のモデリング、設計、製図などの業務に従事している方々を対象としています。	劇場、デパート、ホテルなどの建物は、その用途、規模、収容人員に応じて屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備などの消防用設備等又は特殊消防用設備等の設置が法律により義務づけられており、それらの工事、整備等を行うには、消防設備士の資格が必要です。 資格は「甲種」と「乙種」に分類されています。 甲種消防設備士は、消防用設備等又は特殊消防用設備等(特類の資格者のみ)の工事、整備、点検ができます。 消防設備士試験（甲種）は特類、1～5 類に分かれて実施されます。	劇場、デパート、ホテルなどの建物は、その用途、規模、収容人員に応じて屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、自動火災報知設備などの消防用設備等又は特殊消防用設備等の設置が法律により義務づけられており、それらの工事、整備等を行うには、消防設備士の資格が必要です。 資格は「甲種」と「乙種」に分類されています。 乙種消防設備士は消防用設備等の整備、点検を行うことができます。 消防設備士試験（乙種）は、1～7類に分かれて実施されます。	インテリアコーディネーターは、住まい手にとって快適な住空間を作るために適切な提案・助言を行う専門職です。 インテリア（内装、家具、ファブリックス、照明器具、住宅設備等）に関する幅広い商品知識を持ち、住宅・インテリアメーカー、工務店、販売店やフリーな立場で、インテリア計画や商品選択のアドバイスなどを行います。 インテリアコーディネーターの資格は、公益社団法人インテリア産業協会が認定する民間資格です。 民間資格なので、仕事をするうえで必須ではありませんが、業界内の資格取得者は多く、就職や転職の際など取得していると有利になる場合があります。	建築基準法第12条第3項の規定に基づき、定期的に建築設備（換気設備、排煙設備、非常用の照明装置、給水設備及び排水設備）の安全確保のための検査を行い、その結果を特定行政庁へ報告する制度があります。その定期検査を行うことができる資格を有する者を「建築設備検査員」といいます。 資格を取得する者には、国土交通大臣の登録を受けた機関が実施する「登録建築設備検査員講習」を受講し、修了考査に合格する必要があります。 講習の実施機関として国土交通大臣の登録を受け（登録番号　登設講第1号）、毎年、東京・大阪・その他の地域で講習会を開催しています。
受験資格	業務に従事することを目指す方、およびBIMシステムの周辺業務に従事している方を想定して試験を行います。関連製品の管理、営業等を担当されている方も対象です。 1級は、半年以上の実務経験、または1年以上の就学経験を有する方	受験資格は大別して国家資格等によるものと、学歴によるものの2種類があり。 詳細については、一般財団法人　消防試験研究センターに問い合わせ。	特になし	特になし	下記区分のいずれかに該当する者 ・学歴+実務(学歴で異なる) ・実務11年以上 ・建築行政で2年以上の実務 ・一級建築士又は二級建築士 ・同等以上の知識及び経験を有する者 ・建築設備士の資格を有する者
問合せ先	一般社団法人コンピューター教育振興協会 TEL.03-3560-8435	一般財団法人消防試験研究センター TEL.03-3597-0220	一般財団法人消防試験研究センター TEL.03-3597-0221	公益社団法人インテリア産業協会 TEL.03-5379-8600	一般財団法人日本建築設備・昇降機センター講習事業部 TEL.03-3591-2423

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	建設		技能		
資格名	建築積算士	カラーコーディネーター	職業訓練指導員(各種)	半導体製品製造技能士	エネルギー管理士
概要	建築積算士は、建築物の工事費を適正に算定する専門家です。 構造物の工事費や材料費の積算を行い、建物の工事にかかる費用を正確に算出します。 建築積算は幅広い専門知識と計算能力を必要とする高度な仕事であり、建築業界で大金が動く工事において重要な役割を果たします。 以下の方々に取得をお勧めします。 ・設計事務所のコスト担当者 （積算を外部事務所に依託する場合でも、内容のチェック等には、高度な積算技術と知識が必要です。） ・建設会社のコスト部門担当者あるいは工事部門現場管理担当者 ・積算事務所の担当者 ・官公庁のコスト管理関係者 ・インテリア関係・リニューアル関係・専門工事等の担当者	東京商工会議所が主催する実務型カラー検定です。プロダクトカラー系・環境色彩系に強みを持ち、色彩検定®よりも難易度は高め。商品の開発、建築・インテリアデザイナーなど工業分野でニーズが高く、店舗の演出、コンサルティングなどでも活用できる資格です。 色の性質・特性など、色彩の知識を身につけることで、色の持つ効果をビジネスシーンに活かすことができます。 仕事に役立つ実践的な色彩の知識を学ぶことができる、それがカラーコーディネーター検定試験です。 ※受験資格には、スタンダードクラスとアドバンスクラスの2種類があります。	テクノインストラクター（職業訓練指導員）は、「ハロートレーニング」で、就職やスキルアップなどに必要な技能や技術の指導や就職支援などを行います。 指導員になるためには、高校などの先生と同じように、指導員の「免許」を取得する必要があります。 職業能力開発促進法の規定に基づく公共職業能力開発施設（国・都道府県が職業訓練を行うために設置した施設）及び認定職業訓練施設（事業主等が職業訓練を行うために設置した施設）で訓練指導に当たる者を職業訓練指導員といいます。 これらの施設で訓練を担当する指導員は「職業訓練指導員免許」を必要とします。 交付された職業訓練指導員免許は全国で有効です。	半導体製品製造技能士は、トランジスタやICチップ、ダイオードなどの半導体製品の製造に必要な技能を認定する国家資格です。 資格は、特級・1級・2級・3級とあり、試験は、「ICチップを作るための土台を作る作業、集積回路チップ製造作業」と、「半導体製品を組み立てる作業、集積回路組立て作業」に区分されます。	エネルギー資源の乏しい我が国にとって、エネルギーを可能な限り有効に使用することは重要な課題です。 このため、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」(通称「省エネ法」)の制定をはじめ、種々の省エネルギー施策が推進されています。 エネルギー管理者は、エネルギーの使用の合理化に関して、エネルギーを消費する設備の維持、エネルギーの使用の方法の改善及び監視、その他経済産業省令で定める業務の管理を行います(省エネ法第11条)。 また、エネルギー管理者は、その職務を誠実に行わなければならないとの規定があるほか、事業者はエネルギーの使用の合理化に関しエネルギー管理者の意見を尊重しなければならないこと、従業員は、エネルギー管理者の指示に従わなければならないことが規定されています(省エネ法第19条の3)。
受験資格	受験年度の4月2日に、満17歳以上の者である条件です。	特になし ※スタンダードクラスとアドバンスクラスの併願受験も可能。	受験種別に応じた受験資格を満たす者	特級：1級合格後5年以上の実務経験 1級：7年以上の実務経験、または2級合格後2年以上の実務経験 ※学歴により必要な実務経験年数が異なる 2級：実務経験2年以上 ※学歴により実務経験が不要になる	資格に加えて、一定の実務経歴を有する者
問合せ先	公益社団法人建設積算協会 TEL.03-3453-9591	東京商工会議所 TEL.03-3989-0777	厚生労働省 人材開発統括官付参事官(人材開発政策担当)付訓練企画室 TEL.03-3595-3356	中央職業能力開発協会 技能検定部企画管理課 TEL.03-6758-2859 （受検申請受付） 各都道府県 職業能力開発協会	エネルギー管理試験・講習センター　試験部 TEL.03-5439-4970

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	技能				
資格名	電気工事士	冷凍機械責任者	電気機器組立て技能士	ボイラー技士	半導体技術者検定
概要	ビル、工場、商店、一般住宅などの電気設備の安全を守るために工事の内容によって、一定の資格のある人でなければ、電気工事を行ってはならないことが、法令で決められています。 電気工事の欠陥による災害の発生を防止するために、電気工事士法によって一定範囲の電気工作物について電気工事の作業に従事する者の資格が定められています。 電気工事士の資格には、第一種電気工事士と第二種電気工事士があります。 第一種電気工事士は、一般用電気工作物及び自家用電気工作物（最大電力500 キロワット未満の需要設備に限る。）の作業に従事することができます。 第二種電気工事士は、一般用電気工作物の作業に従事することができます。	主に冷凍空調機器を備えている施設、冷凍倉庫、冷凍冷蔵工場等において、製造（冷凍）に係る保安の実務を含む統括的な業務を行う者に必要な資格で、全ての冷凍（1日の冷凍能力に制限はありません。）の製造施設に関する保安(冷媒ガスの種類の制限はありません。)に携わることができます。 冷凍機械責任者の資格は、第一種から第三種までの3種類あります。 ・第一種で取り扱える冷凍装置の規模は、1日の冷凍能力が300トン以上の製造施設です。 ・第二種で取り扱える冷凍装置の規模は、1日の冷凍能力が300トン未満の製造施設です。 ・第三種で取り扱える冷凍装置の規模は、1日の冷凍能力が１00トン未満の製造施設です。	「電気機器組立て職種」における電気機器は、回転電機、変圧器、配電盤・制御盤などの産業用機器を対象としています。「電気機器組立て職種」は、電気機器を組み立てたり、それに伴う電気系やメカニズム系の調整や検査を行ったりする仕事を対象としています。 電気機器組立て技能士には数種類の作業があり、特級以外はいずれかを選択して受検することが可能です。ただし、作業によって設定されている級には違いがあります。 「回転電機組立て作業」と「変圧器組立て作業」、「開閉制御器具組立て作業」、「回転電機巻線製作作業」は1・2級が設けられています。 「配電盤・制御盤組立て作業」と「シーケンス制御作業」には1～3級の試験が実施されます。	ボイラー（小規模・小型ボイラーを除く。）は、ボイラー技士の免許を受けた者でなければ、取り扱うことができません。 また、伝熱面積の合計が25㎡未満のボイラーを取り扱う作業については、一級又は二級ボイラー技士免許を受けた者のうちからボイラー取扱作業主任者を選任することが必要です。 二級ボイラー技士は、ごく一般に設置されている製造設備あるいは暖冷房、給湯用のエネルギー源としてのボイラーを取り扱う重要な役割を担います。	一般社団法人パワーデバイス・イネーブリング協会（PDEA）が運営している、半導体の作り手と使い手の知識を客観的かつ公正に認定する唯一の資格です。 2014年より、半導体関連知識を身に着けたい方々の学習指針となる検定試験「半導体技術者検定(旧半導体テスト技術者検定)」を実施しています。 本試験に合格することによって、半導体技術者であることを公的に証明できるようになります。 半導体技術者検定は難易度別に、エレクトロニクス3級、2級、1級の3種類に区分されています。 ・3級では大学・専門学生や若手エンジニアに向けた基礎的な問題が出題されます。 ・2級からは受験者が将来目指す職種に応じて受験科目を選択できる、より専門的かつ実用的な検定スタイルとなっています。
受験資格	特になし	特になし	特級：1級合格後5年以上の実務経験 1級：7年以上の実務経験、または2級合格後2年以上、3級合格後4年以上の実務経験 2級：実務経験2年以上、または3級合格者 ※学歴により実務経験が不要になる 3級：不問	二級：特になし 一級：あり(一定の実務経験等)	1級、2級ともに特になし 3級は、エレクトロニクス2級3科目に合格した方（申請認定）
問合せ先	一般財団法人電気技術者試験センター TEL.03-3552-7691	高圧ガス製造保安協会 試験センター TEL.03-3436-6106	中央職業能力開発協会 技能検定部企画管理課 TEL.03-6758-2859 （受検申請受付） 各都道府県 職業能力開発協会	公益財団法人安全衛生技術試験協会 TEL03-5275-1088	一般社団法人パワーデバイス・イネーブリング協会 Mail：info@pdea.jp

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	保全				
資格名	機械保全技能士 (機械系・電気系・設備診断)	機械検査技能士	産業用ロボット 特別教育 インストラクター	マイクロソルダリング技術資格 (はんだ付)	自主保全士
概要	機械保全技能士は、工場の設備機械の故障や劣化を予防し、機械の正常な運転を維持し保全するための能力を持つことを認定する国家資格です。 機械保全の職種には、機械系保全作業、電気系保全作業、設備診断作業の3つがあります。 また、求められる知識や技能が級によって区別されており、特級、1級、2級、3級があります。 機械系保全作業 （1級、2級、3級） 電気系保全作業 （1級、2級、3級） 設備診断作業 （1級、2級）	機械検査は、各種測定機器などを用いて機械部品の検査を行うもので、製造現場での専門的な検査工程に限らず、共通的な基本技能として重要なものとなっています。 機械検査職種は、機械部品の検査に必要な技能・知識を対象としています。 求められる知識や技能が級によって区別されており、特級、1級、2級、3級があります。	運転中の産業用ロボットに労働者が接触すると死亡災害等大きな災害につながりかねません。 このため、産業用ロボットについては、その教示等及び検査等に係る機器の操作の業務に従事する者に対して、事業者は、「教示等」及び「検査等」に係る特別教育を行うことが法令で義務づけられており（労働安全衛生法第59条第3項）、ロボット作業に従事するほとんどの方々が特別教育の対象となります。 ロボットの法定(労働安全衛生規則第36条第31号、第32号)の特別教育について、下記の公的機関で実施しているほか、主なロボットメーカにおいても実施しています。 以下が資格取得対象です。 1.産業用ロボットの教示等及び検査等に係る特別教育の講師 2.産業用ロボットに係る関係者	マイクロソルダリングとは、数mm或いは数ｃｍの部品をはんだ付する微細はんだ付のことです。携帯電話やデジタルカメラの中の小さな小さな部品も、場合によっては人間の手ではんだ付します。 マイクロソルダリング技術資格を取ることにより、自分のレベルを客観的に知り、第三者にもきちんと伝えることが出来ます。また、少量多品種生産等に応用が効く基本的な知識・技量を持っているかどうかの認定がなされます。	自主保全とは、生産システムの効率を高めるために、設備を使用するオペレーター自身が行う保全活動のことです。 これにより生産効率を阻害するロスを排除し、またそのための改善活動を進めることで、設備をあるべき姿に保つとともに、設備に強い人づくりにつながります。
受験資格	検定職種に関する実務経験が必要 （3級を除く）	原則として検定職種に関する実務経験が必要	特になし	各資格で受験条件が異なる (例：オペレータ・18歳以上経験3ヶ月以上)	2級：特になし 1級：実務経験4年以上
問合せ先	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 TEL.03-6865-6081 ㈱CBTソリューションズ 受験サポートセンター TEL.03-5209-0553	中央職業能力開発協会 技能検定部企画管理課 TEL.03-6758-2859 （受検申請受付） 各都道府県 職業能力開発協会	中央労働災害防止協会 TEL.03-3452-6841	一般社団法人日本溶接協会 マイクロソルダリング事務局 TEL.03-5823-6325	公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 受験サポートセンター TEL.03-5209-0553

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	保全	技術			
資格名	ロボット ＳＩ検定	電気主任技術者	3次元CAD利用 技術者試験	機械設計技術者	陸上特殊 無線技士
概要	ロボットシステムインテグレーション（ロボットSI）を行う上で必要な知識の習得レベル・技術の修熟レベルを測定するための検定試験です。 FA・ロボットシステムインテグレータ協会の実施するロボットSI育成プログラムの一環として実施されています。 ロボットＳＩに関する基礎知識の定着と基本操作の習得を評価するもので、ロボットシステムインテグレーション及びロボット操作の基礎を習得したい方などが主たる対象となります。	電気主任技術者になれば、発電所や変電所、それに工場、ビルなどの受電設備や配線など、電気設備の保安監督という仕事に従事することができます。電気主任技術者は社会的評価が高い資格です。 電気設備を設けている事業主は、工事・保守や運用などの保安の監督者として、電気主任技術者を選任しなければならないことが法令で義務づけられています。 電気主任技術者の資格は、取り扱うことができる電圧によって、第一種から第三種までの３種類あります。 第二種では、電圧が17万ボルト未満の事業用電気工作物を取り扱うことができます。 第三種では、電圧が5万ボルト未満の事業用電気工作物（出力5千キロワット以上の発電所を除く）を取り扱うことができます。	CAD利用技術者試験は、CADを利用するうえでの技術を明確化し、一定水準の技術に達している者に対して評価・認定を行い、その技術保持者の育成と社会的・経済的地位の向上を図ることを目的としています。 「3次元CAD利用技術者」は、2級、準1級、1級と受験者のレベルに合わせて資格取得を目指すことが出来ます。	機械設計技術者試験は、安全で効率のよい機械を経済的に設計する機械設計技術者の総合能力を認定し、機械設計技術者の技術力向上と社会的評価の適正な確立を図り、我が国機械産業の振興に寄与することを目的としています。 機械設計技術者試験の実施によって、設計技術者の能力向上の促進、技術者の社会的地位の確立、機械設計業務に係る業務取引基準の明確化等の様々な社会的効果が期待できます。	陸上特殊無線技士は、陸上で電波を利用する無線設備の技術的な操作を行う際に必要な資格で、防災行政無線、無線中継所、放送局（テレビ中継）、警察、消防、防災行政無線、携帯電話、タクシー無線等で必要となります。 第三級から第一級に技術操作できる範囲が増えて行き、第一級は多重無線設備、中継放送局、市区町村放送局、レーダー、衛星通信システム、陸上移動局、携帯局、基地局の技術操作ができるようになります。 ・第一級陸上特殊無線 第二級陸上特殊無線技士の操作に属する範囲および多重無線設備の技術操作 ・第二級陸上特殊無線 第三級陸上特殊無線技士の操作に属する範囲および中継放送局、市区町村放送局、レーダー、衛星通信システムの技術操作 ・第三級陸上特殊無線 陸上移動局、携帯局、基地局の技術操作
受験資格	ロボット安全特別教育を修了していること	特になし	2級：特になし 準1級・1級：2級有資格者	3級：特になし 2級：あり(一定の実務経験等) 1級：あり(一定の実務経験等)	2級：特になし 準1級・1級：2級有資格者
問合せ先	ロボットＳＩ検定事務局（FA・ロボットシステムインテグレータ協会内） TEL.03-3434-2948	一般財団法人 電気技術者試験センター TEL.03-3552-7691	一般社団法人 コンピュータ教育振興協会CAD利用技術者試験 TEL.03-3560-8347	一般社団法人 日本機械設計工業会 TEL.03-3639-2204	公益財団法人日本無線協会 試験関係.03-3533-6022

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	技術				警備
資格名	生産技術者マネジメント認定（CPE資格）	2次元CAD利用技術者試験	電気通信主任技術者（伝送交換主任技術者部門）	建築物環境衛生管理技術者	警備員指導教育責任者
概要	生産技術マネジメントとは、業務範囲における各工程をうまく連携させ、優れた製品を供給できるように当該プロセスをうまく管理（コーディネート）することであり、生産技術マネジメントスキルとは、生産技術に関わる幅広い知識や経験を駆使し、ものづくりプロセスにおける様々な課題を解決していくことだと言えます。 CPE試験はその名の通り、生産技術関連の広範な知識を問う試験です。「CPE-B級試験」と「CPE-A級試験」という2つのレベルがあります。CPE-B級からCPE-A級へとスキルアップを図ることができる体系となっています。	CAD利用技術者試験は、CADを利用するうえでの技術を明確化し、一定水準の技術に達している者に対して評価・認定を行い、その技術保持者の育成と社会的・経済的地位の向上を図ることを目的としています。 「2次元CAD利用技術者」は、基礎、2級、準1級、1級に分かれ、1級は分野別に「機械」「建築」「トレース」に分かれています。	電気通信主任技術者は、電気通信ネットワークの工事、維持及び運用の監督責任者です。電気通信主任技術者の選任は、原則として、事業用電気通信設備を直接に管理する事業場ごととなります。 ただし、多数の事業場が地理的にも組織的にも近接している場合は、電気通信主任技術者が一定の範囲内の他の事業場の設備もあわせて監督できることになっております。 伝送交換主任技術者の監督範囲は、電気通信事業の用に供する伝送交換設備及びこれに附属する設備の工事、維持及び運用となります。	建築物環境衛生管理技術者試験は、建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づく国家試験です。 公益財団法人日本建築衛生管理教育センターは、建築物における衛生的環境の確保に関する法律（昭和45年4月14日法律第20号）（以下「建築物衛生法」という。）の制定に伴い昭和45年8月20日に公益法人として設立され、 建築物の管理に関する教育並びにその知識・技能の普及活動を通じて建築物の衛生的環境の 確保を図り、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的としています。 技術者の職務は、特定建築物の環境衛生上の維持管理に関する業務を全般的に監督することです。その職務の範囲には、特定建築物が管理基準に従って維持管理されているかを監督することはもちろん、照明や騒音防止など、その他の環境衛生に関する事項の維持管理についても含まれます。	公安委員会の交付する警備員指導教育責任者資格者証を持ち、警備業務に関する専門的知識、及び技能を有する者で、警備業務を適正に行うために、警備員に対する指導、教育を行う重要な役割を担っています。 平成17年11月21日施行された改正警備業法では、営業所ごと及び当該営業所において取り扱う警備業務の区分ごとに当該警備員指導教育責任者を選任し、指導、教育、監督に当たらせることが義務づけられています。 警備員指導教育責任者講習を受講して修了考査に合格し、警備員指導教育責任者資格者証の交付を受けることで有資格者となります。 講習を受講するためには警備員としての実務経験や警備員検定など受講資格を満たしている必要があります。
受験資格	想定される受験者はB級が実務経験5年以降、A級が実務経験10年以上とされているため、基本的に経験者向けの試験です。	2級：特になし 1級：2級有資格者および過去の1級合格者に限る	特になし	該当する用途に供される建築物の当該用途部分において環境衛生上の維持管理に関する実務に業として２年以上従事した者	次のいずれかの条件に該当する者 ・受験する警備区分の業務について、最近5年間に通算3年以上従事している者 ・受験する警備区分の警備業務検定1級の合格証明書の交付を受けた者 ・受験する警備区分の警備業務検定2級の合格証明書の交付を受けてから1年以上継続してその区分の業務に従事している者
問合せ先	一般社団法人日本能率協会TEL.03-3434-1410	一般社団法人コンピュータ教育振興協会CAD利用技術者試験TEL.03-3560-8347	一般財団法人日本データ通信協会電気通信国家試験センターTEL.03-5907-6556	公益財団法人日本建築衛生管理教育センター国家試験課TEL.03-3214-4620	一般社団法人全国警備業協会TEL.03-3342-5821

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	警備	接遇			
資格名	警備業務検定 (各種)	TOEIC	コンタクトセンター 検定試験	接客販売技能士	サービス接遇検定
概要	警備業務のうち、法令で定める特定の種別の警備業務を実施するに当たっては、当該種別に係る検定合格証明書の交付を受けている警備員を配置しなければなりません。 警備員検定は、法令によって次の6種類の資格が定められており、それぞれに1級と2級があります。 ・空港保安警備業務 ・施設警備業務 ・雑踏警備業務 ・交通誘導警備業務 ・核燃料物質等危険物運搬警備業務 ・貴重品運搬警備業務 公安委員会が行う検定を受験するか、特別講習を受講後、修了考査に合格し、修了証書を交付されることによって学科および実技試験が免除され、都道府県公安委員会への申請（書類審査）のみで合格証明書を取得する方法の2種類があります。	英語コミュニケーション能力を公平公正に評価する世界共通の基準です。 テスト結果は合格・不合格ではなくスコアで表示されるので、「現在地の正確な把握」や「目標設定」が可能です。 知識・教養としての英語ではなく、オフィスや日常生活における英語によるコミュニケーション能力を幅広く測定します。 TOEIC Programは、目的や測定したいスキルに応じて、2つのテストブランドがあり、それぞれ4技能のスキルを測定できます。 ①TOEIC® Listening & Reading Test ②TOEIC® Speaking & Writing Tests ③TOEIC Bridge® Listening & Reading Tests ④TOEIC Bridge® Speaking & Writing Tests ※ 推奨資格対象となるのは①のみとなります。	コンタクトセンター検定資格は、一般社団法人日本コンタクトセンター教育検定協会が認定する民間資格です。 お客様サービスのスキルを証明し、顧客対応力の高さを資格として認定します。 資格制度の構築にあたっては、 平成21年度の経済産業省の「サービスイノベーション創出支援事業（サービス産業能力評価システム構築支援事業）」の支援を受けています。 試験科目には以下があります。 オペレーションレベル ・エントリー資格 ・オペレーター資格 ・スーパーバイザー資格 プロフェッショナルレベル ・オペレーションマネジメント資格 ・コンタクトセンターアーキテクチャ資格	技能検定職種の一つとして、平成29年10月に日本百貨店協会は厚生労働大臣から接客販売職種の指定試験機関として指定されました。 試験は、学科試験と実技試験で実施します。レディス／メンズファッション販売、ギフト販売の3作業、それぞれ1級、2級、3級の3つの等級があります。 試験に合格すると作業や等級に応じ、「接客販売技能士」の称号が付与される国家検定資格です。	サービス接遇検定は、サービスに対する心構えや応対の技術、言葉遣い、立ち居振る舞いなどを学ぶ検定です。 「おもてなしの心とかたち」が育まれるとされ、多くの企業で注目されています。 業種を問わず必要とされる「顧客の気持ちを理解するため」の実務スキルや知識が身につきます。 企業（金融，鉄道，運輸，ホテル，病院，派遣会社）や専門学校（理美容，ファッション，医療スタッフ，航空，観光等）での受験者が増えています。
受験資格	1級：当該種別の2級の検定合格証明書の交付後、1年以上の実務経験 2級：制限なし	特になし	特になし	3級：特になし 2級：3級を保有している、もしくは販売経験2年以上 1級：2級取得後の販売経験が1年以上、もしくは販売経験5年以上	特になし
問合せ先	一般社団法人 警備員特別講習事業センター TEL：03-5321-7655	一財国際ビジネスコミュニケーション協会 IIBC試験運営センター TEL.03-5521-6033	（株）オデッセイ コミュニケーションズ「コンタクトセンター検定試験」係 mail@odyssey-com.co.jp 一般社団法人 日本コンタクトセンター教育検定協会 事務局 TEL. 03-6273-4773	日本百貨店協会 接客販売技能検定事務局 TEL.03-3231-8768	公益財団法人 実務技能検定協会 TEL.03-3200-6675

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	ＩＴ				
資格名	情報処理安全確保支援士	Microsoft Certified: Azure Solutions Architect Expert	Google 認定 Professional Data Engineer	Google 認定 Professional Cloud Developer	Oracle Certified Java Programmer
概要	サイバーセキュリティに関する専門的な知識・技能を活用して企業や組織における安全な情報システムの企画・設計・開発・運用を支援し，また，サイバーセキュリティ対策の調査・分析・評価を行い，その結果に基づき必要な指導・助言を行う資格です。 試験合格者は、情報セキュリティに関する知識・技能を有するものとして、国家資格「情報処理安全確保支援士（登録セキスペ）」の資格保持者となることができます。	Microsoft Azureシステム設計者向け資格です。 この試験の受験者は、ビジネス上の要求をセキュアで拡張可能な信頼できるソリューションに置き換えて関係者へアドバイスを行う Azure ソリューションアーキテクトです。受験者は およびネットワーキング、仮想化、アイデンティティ、セキュリティ、ビジネス継続性、災害復旧、データ管理、予算管理、ガバナンスを含むIT操作のさまざまな観点における卓越した経験を保つ必要があります。	Google 認定プロフェッショナル データエンジニアは、データを収集、変換、公開して、データに基づく意思決定ができるようにします。 Data Engineer には、セキュリティとコンプライアンス、スケーラビリティと効率性、信頼性と忠実性、柔軟性とポータビリティに特に重点を置いて、データ処理システムの設計、構築、運用化、保護、モニタリングを行う能力が必要です。また、既存の機械学習モデルの活用、デプロイ、継続的なトレーニングもできなければなりません。 試験では、以下に関する能力が評価されます。 ・ データ処理システムの設計 ・ データ処理システムの構築と運用化 ・ 機械学習モデルの運用化	Google 認定プロフェッショナル クラウドデベロッパーは、フルマネージド サービスを利用する Google の各種ツールを使用して、Google の推奨する方法を実践しながら、スケーラブルで可用性の高いアプリケーションを構築します。 認定試験では、以下に関する能力が評価されます。 ・スケーラビリティ、可用性、信頼性に優れたクラウド ネイティブ アプリケーションの設計 ・アプリケーションのビルドとテスト ・アプリケーションのデプロイ ・Google Cloud Platform サービスの統合 ・アプリケーションのパフォーマンス モニタリングの管理	Oracle認定Javaプログラマは、日本オラクル社が主催するJavaプログラマ向けのベンダー資格です。この資格を取得すると業界標準に準拠した高度なスキルを証明できるので、未経験からIT業界へ就職したい方やスキルアップ転職を目指すプログラマにとっても大変有益なライセンスです。 認定資格には、技術者のスキルに合わせ、以下の3種類があります。 ・Oracle Certified Java Programmer, Gold SE11 (Available only in Japan) 認定資格 ・Oracle Certified Java Programmer, Slver SE11 (Available only in Japan) 認定資格 ・Oracle Certified Java Programmer, Bronze SE (Available only in Japan) 認定資格
受験資格	特になし	試験 AZ-305: Microsoft Azure Infrastructure Solutions の設計 に合格すること	特になし	特になし	特になし
問合せ先	独立行政法人情報処理推進機構 TEL.03-5978-7600	Microsoft Azure HPより問い合わせ 【Microsoft Azure 認証試験】 https://www.microsoft.com/ja-jp/learning/azure-exams.aspx	Google HPより問い合わせ 【Google Cloud Certified】 https://cloud.google.com/certification/?hl=ja	Google HPより問い合わせ 【Google Cloud Certified】 https://cloud.google.com/certification/?hl=ja	日本オラクル社 オラクル認定資格事務局 Email：oraclecert_jp@oracle.com

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	ＩＴ				
資格名	基本情報技術者試験 応用情報技術者試験	ｼﾆｱﾓﾊﾞｲﾙｼｽﾃﾑｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ（SMC）	CCNP CCNA	ORACLE MASTER	Microsoft Certified: Azure Developer Associate
概要	情報処理技術者試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験です。 情報システムを構築・運用する「技術者」から情報システムを利用する「エンドユーザ（利用者）」まで、ITに関係するすべての人に活用いただける試験として実施しています。 基本情報技術者 上位者の指導の下に、基本戦略立案又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事する方 応用情報技術者 独力で基本戦略立案又はITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事する方	モバイルシステム技術検定の最高位資格であり、我国モバイルコンピューティングシステムの企画・設計・構築・運用のリーダーとして、活躍する資格です。 モバイルシステム技術検定はIT関連業務に従事している方々やモバイルシステムの業務に携わる方々を対象に設けられた制度です。 モバイルシステムの提案、構築運用改善をより効果的、効率的に行うために必要となる技術知識・情報を習得していただくこと、さらにこの分野における優れた技術者として活躍していただくことを狙いとしています。 モバイルシステム技術検定1級資格取得後、2日間の「シニアモバイルシステムコンサルタント研修」に参加し、小論文テストに合格すると付与されます。	企業の LAN および WAN の計画、実装、検証およびトラブルシューティングの能力に加え、高度なセキュリティ、音声、ワイヤレスおよびビデオのソリューションのスペシャリストと協同で業務を行う能力が評価されます。 ・CCNP 3 年以上の実務経験を持ち、さらにスキルを磨いて複雑なネットワークソリューションを独力で担当することを目指すネットワーキング技術者に適しています。 ・CCNA CCNA Routing and Switching 認定では基盤となるテクノロジーの知識を習得するだけでなく、次世代テクノロジーに必要なスキルセットに備えます。	ORACLE MASTER データベース認定資格は、セットアップ、メンテナンス、トラブルシューティング、チューニングなど、データベース管理者として必要なスキルを身につけていることを証明します。 ・ORACLE MASTER Bronze 管理者として必要となる基礎知識を修得していることを証明する資格です。 ・ORACLE MASTER Silver 専門技術者としての第一歩であり、各トラックの基礎技術を修得していることを証明する資格です。	Microsoft Azureの開発ソリューション資格です(試験 AZ-203)。 この試験の受験者はアプリケーションやサービスといった Cloudソリューションを設計してビルドした Azure デベロッパーです。 これらの対象者は、ソリューション設計から開発やデプロイ、テストやメンテナンスまでの開発のすべてのフェーズに関わります。また、ソリューションの実装にあたって、 Cloudソリューションアーキテクト、 Cloud DBA、Cloudアドミニストレータ、クライアントと連携を取ります。受験者はストレージ、セキュリティ、計算、コミュニケーションを含む Azure ツールとテクノロジを利用したアプリとサービス開発に精通している必要があります。
受験資格	特になし	モバイルシステム技術検定１級資格保有者	特になし	オラクルマスターBronzeの取得にはステップ1として、SQLに関する試験に合格する必要がある。 ステップ2は、Bronze DBA 12cに合格すること。 オラクルマスターSilverは、Bronzeを取得している必要がある。	原則として検定職種に関する実務経験が必要
問合せ先	独立行政法人 情報処理推進機構 TEL.03-5978-7600	MCPC検定事務局 TEL.03-5401-1735	シスコシステムズ合同会社 TEL.03-6434-6500	日本オラクル社 オラクル認定資格事務局 Email：oraclecert_jp@oracle.com	Microsoft Azure HP より問い合わせ 【Microsoft Azure 認証試験】 https://www.microsoft.com/ja-jp/learning/azure-exams.aspx

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	ＩＴ				
資格名	Microsoft Certified: Azure Administrator Associate	Google 認定 Professional Cloud Architect	E資格	統計検定（各級）	AWS 認定ソリューションアーキテクト-アソシエイト
概要	Microsoft Azureのシステム管理者向け資格です(試験 AZ-103)。 この試験の受験者は、ストレージ、セキュリティ、ネットワーキング、コンピューティング Cloud機能にまたがる Cloud サービスを管理する Azure 管理者です。 受験者は、ITライフサイクルの各サービスに精通しており、インフラストラクチャ サービス、アプリケーション、および環境の依頼を受けます。適切なリソースのプロビジョニング、サイズ設定、監視、調整と同様、最適なパフォーマンスおよび規模で使用するサービスを推奨します。	Google 認定 プロフェッショナル クラウドアーキテクトは、Google Cloud の技術を組織が活用するために必要なクラウド アーキテクチャと Google Cloud Platform に関する専門的な知識を活かして、ビジネス目標を推進するスケーラブルで高可用性を備えた堅牢かつ安全な動的ソリューションを設計、開発、管理するスキルを持ったアーキテクトです。 認定試験では、以下に関する能力が評価されます。 ・ クラウド ソリューション アーキテクチャの設計と計画 ・ クラウド ソリューション インフラストラクチャの管理とプロビジョニング ・ セキュリティとコンプライアンスに対応した設計 ・ 技術プロセスやビジネスプロセスの分析と最適化 ・ クラウド アーキテクチャの実装の管理 ・ ソリューションとオペレーションの信頼性の確保	E資格はディープラーニング（深層学習）を理解し、適切に実装する能力・知識を持つAIエンジニアとして認定する資格です。 高い専門性を持ったAIエンジニアを認定することから、E資格の合格者はデータサイエンティストやAIエンジニアとして活躍の場が広がります。 AIエンジニアになるために必要な知識を体系的に学ぶことができ、社内などでエンジニアと同じレベルでコミュニケーションを取りたい人、AIエンジニアを目指す人にお勧めする資格です。	統計検定は、統計に関する知識や活用力を評価する全国統一試験です。 データに基づいて客観的に判断し、科学的に問題を解決する能力は、仕事や研究をするための21世紀型スキルとして国際社会で広く認められています。 日本統計学会は、国際通用性のある統計活用能力の体系的な評価システムとして統計検定を開発し、様々な水準と内容で統計活用力を認定しています。 試験内容は以下の4種類です。 ・1級…実社会の様々な分野でのデータ解析を遂行する統計専門力 ・準1級…統計学の活用力ー 実社会の課題に対する適切な手法の活用力 ・2級…大学基礎統計学の知識と問題解決力 ・3級…データの分析において重要な概念を身に付け、身近な問題に活かすカ	AWS 認定ソリューションアーキテクト-アソシエイトは、主に設計者向けであり、クラウドプラクティショナーの上位となる中級レベルの資格です。 試験では、AWSサービスの特徴に加え、AWS Well-Architected Framework が提唱している、システムを設計・構築・運用する上での5つの原則とベストプラクティス(AWSの最適な活用法)などに沿った問題が出題されます。 AWSのサービスを利用した効率のよいクラウド環境の設計や構築または提案ができることを証明できます。
受験資格	原則として検定職種に関する実務経験が必要	特になし	JDLA認定プログラムを試験日の過去2年以内に修了していること	特になし	受験対象者には、AWS のサービスを使用するクラウドソリューション設計の実務経験が 1 年以上必要です。
問合せ先	Microsoft Azure ＨＰより問い合わせ【Microsoft Azure 認証試験】 https://www.microsoft.com/ja-jp/learning/azure-exams.aspx	Google　ＨＰより問い合わせ【Google Cloud Certified】 https://cloud.google.com/certification/?hl=ja	一般社団法人日本ディープラーニング協会 TEL.03-6408-1738	一般財団法人 統計質保証促進協会 E-mail.jssc_center@qajss.org	AWS　ＨＰより問い合わせ【AWS認定】 https://aws.amazon.com/jp/certification/

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	ＩＴ				
資格名	AWS 認定アドバンストネットワーキング-スペシャリティ	AWS 認定DevOpsエンジニア-プロフェッショナル	AWS 認定SAP on AWS-スペシャリティ	情報セキュリティ管理士認定試験	モバイルシステム技術検定試験(MCPC)
概要	AWS 認定 高度なネットワーキング-スペシャリティは、AWSや大規模なハイブリッドITアーキテクチャの設計および実装における技術的な専門知識を証明する資格です。 試験では、AWSネットワークの設計と実装、 アプリケーションサービスとネットワークの連携、セキュリティとコンプライアンスの設計と実装などについて問われます。	AWS 認定DevOpsエンジニアは、主に運用担当や開発者向けの上級レベルの資格です。 試験では、問題文でユースケースと要件が提示され、それに対するソリューションを選ぶような問題が多くみられます。 AWS上でDevOpsの手法を用い、高い可用性や自己修復機能を備えたシステムを実装できるスキルの証明になります。	この認定は、AWS での SAP ワークロードの設計、実装、移行、および運用に関する専門知識を検証するものです。 組織は、AWS 上の SAP ワークロードの最適化における重要な知識とスキルを備えた適切な人材を特定して育成することができるようになります。 技術スタック、コスト、計画、評価などの課題に悩んでいます。AWS 認定: SAP on AWS - Specialty 認定は、AWS 上の SAP ワークロードのアーキテクチャ設計、移行、管理に不可欠な SAP と AWS の両方を理解していることを証明になります。	情報セキュリティ対策（管理）を実行し、確立していくためには、トップダウンによる運営、管理体制とあわせ、インターネットやイントラネットなど情報システムを利用する一人ひとりに、情報セキュリティの重要性を周知、啓蒙し、理解させることが大切になってきます。「情報セキュリティ検定試験」は、今日の高度情報化社会の中で、情報システムの利用者一人ひとりが知っておかなければならない情報セキュリティの知識について認定します。 管理士認定試験では、企業や団体の中で、セキュリティ対策のリーダーや会社が目指す、様々なセキュリティ規格の取得のためのリーダーとなることもできる、セキュリティ管理者と同等の知識を有することを認定します。	モバイルシステム技術検定はIT関連業務に従事している方々やモバイルシステムの業務に携わる方々を対象に設けられた制度です。 １級 モバイルシステムを構成する要素について十分理解し、モバイルシステムの適応業務の内容分析、最適システムの提示、システム改善計画の提示、運用の指導を行うに必要な知識を認定します。 1級検定試験は科目合格制を採用しており、「ネットワーク」「端末・アプリケーション」「モバイルシステム」の3科目の試験全てに合格することが必要です。 ２級 モバイルシステムを構成するワイヤレス通信ネットワーク、モバイル端末（ハード、ソフト）、モバイルコンテンツとサービス、セキュリティなどのモバイル関連技術についての概要を理解していることを認定します。
受験資格	対象受験者は、5 年以上のネットワークの経験があり、クラウドおよびハイブリッド ネットワークにおける 2 年以上の経験が必要です。	対象受験者には、AWS 環境でのプロビジョン、運用、管理に関する 2 年以上の経験が必要 です。受験対象者は、ソフトウェア開発ライフサイクルとプログラミングおよび/また はスクリプティングの経験が必要です。	受験対象者は、AWS で SAP ワークロードを設計、実装、移行、運用するための知識、 スキル、経験、能力を備えています。 SAP の経験が 5 年以上、SAP on AWS の経験が 1 年以上ある方向けです。 推奨される SAP に関する知識とその他 IT 全般の知識	特になし	２級：特になし １級：2級保有者
問合せ先	AWS　HPより問い合わせ【AWS認定】https://aws.amazon.com/jp/certification/	AWS　HPより問い合わせ【AWS認定】https://aws.amazon.com/jp/certification/	AWS　HPより問い合わせ【AWS認定】https://aws.amazon.com/jp/certification/	一般財団法人全日本情報学習振興協会TEL.03-5276-0030	MCPC検定事務局TEL.03-5401-1735

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	ＩＴ				
資格名	LinuC	ドットコムマスター（.comMaster）	PHP技術者認定試験	Microsoft Certified: Azure Fundamentals	Google 認定 Associate Cloud Engineer
概要	LinuCレベル1は、「Linuxシステムの構築・運用・管理の専門家」を認定する資格試験です。実務で必要なLinuxの基本操作とシステム管理が行えるエンジニアであることを証明できます。※LinuCレベル1に認定されるためには101試験と102試験の両方に合格する必要があります。 LinuCレベル2は、「ネットワークを含むLinuxシステムの構築・運用・管理の専門家」を認定する資格試験です。Linuxのシステムデザイン、ネットワーク構築において、企画、導入、維持、トラブルシューティング、キャパシティプランニングができるエンジニアであることを証明できます。※LinuCレベル2に認定されるためには201試験と202試験の両方に合格する必要があります。	ドットコムマスターは、NTTコミュニケーションズが実施するICTスキル認定資格制度です。 ドットコムマスターにはICTを安心・安全に利用できる初級レベルの資格「.comMasterBASIC」、 個人や企業のICT活用をサポートできる中級・上級レベルの資格「.comMasterADVANCE（☆☆ ダブルスター、☆ シングルスター）」の２つの資格があります。	PHP技術者認定試験は、PHPベースのシステムを設計・開発・運用するエンジニア、Webデザイナー、PHPでシステム提案を行うコンサルタント、PHPを教える講師等をを目指す方々を対象とした試験です。 資格取得のメリットとしては、PHP技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準のPHPによるシステム開発能力を持つことを認定され、それによりPHPベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。 初級試験（PHP5） PHPプログラミングの基礎知識を問う試験 上級／準上級試験（PHP6） PHPの言語仕様から実用的なプログラミングテクニックまでの知識を問う試験	Microsoft Azure の基礎概念資格です(試験AZ-900)。 この試験は、 Cloud サービスやそれらのサービスがMicrosoft Azureでどのように提供されるのかについての基礎的な知識レベルをデモンストレーションしたい受験者向けです。 この試験は、 例えばクラウドベースのソリューションやサービスの売買に関わる人や、クラウドベースのソリューションやサービスの関係者といった技術的な背景を持たない人や、クラウドサービス関連の基礎知識を証明する必要のある技術的な背景を持つ人を受験者として想定しています。一般的なIT知識や経験は役に立ちますが、技術的なIT経験は必須ではありません。	Google 認定 アソシエイト クラウドエンジニアは、アプリケーションのデプロイ、オペレーションのモニタリング、エンタープライズ ソリューションの管理を行います。Google Cloud Console とコマンドライン インターフェースを使用して一般的なプラットフォームベースのタスクを行うスキルを有しており、そのスキルを使って、Google Cloud 上の Google マネージド サービスまたはセルフマネージド サービスを利用するデプロイ済みソリューションを管理する能力があります。 Associate Cloud Engineer 認定試験では、以下に関する能力が評価されます。 ・ クラウド ソリューション環境の設定 ・ クラウド ソリューションの計画と構成 ・ クラウド ソリューションのデプロイと実装 ・ クラウド ソリューションの正常なオペレーションの確保 ・ アクセスとセキュリティの構成
受験資格	Lv1：特になし Lv2：レベル1保有者	特になし	特になし	特になし	前提条件：なし 推奨される経験： GCPの実務経験が6か月以上
問合せ先	ピアソンVUE（試験配信会社） 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン TEL.03-3568-4482	NTTコミュニケーションズ 受検サポートセンター TEL.03-5209-0553	一般財団法人PHP技術者認定機構 https://www.phpexam.jp/contact	Microsoft Azure HPより問い合わせ【Microsoft Azure認証試験】 https://www.microsoft.com/ja-jp/learning/azure-exams.aspx	Googleホームページより問い合わせ【Google Cloud Certified】 https://cloud.google.com/certification/?hl=ja

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	ＩＴ				
資格名	AWS 認定データベース-スペシャリティ	AWS 認定セキュリティ-スペシャリティ	AWS 認定機械学習-スペシャリティ	統計検定 専門統計調査士	ITIL ファンデーション
概要	AWS認定データベースは、AWSのデータベースサービスに関して幅広い専門知識を有しているかどうかについて検証します。 また、組織がクラウドイニシアティブを実施するための重要なスキルを持つ人材を特定して育成するのに役立ちます。 AWS Certified Database - Specialty を取得すると、最適な AWS データベースソリューションを推奨、設計、維持するための専門知識が認定されます。	AWS認定セキュリティは、AWSのセキュリティ管理やその他クラウドセキュリティの自動化、BCPとバックアップを含む災害対策管理などの知識を有するかどうかを認定します。 AWS クラウドにおけるセキュリティソリューションの作成と実装に関する知識を認定します。この認定では、専門的なデータ分類と AWS のデータ保護メカニズム、データ暗号化方法とそれらを実装するための AWS メカニズム、および安全なインターネットプロトコルとそれらを実装するための AWS メカニズムについての理解も検証されます。	AWS Certified Machine Learning - Specialty (MLS-C01) 試験は、人工知能/機械学習 (AI/ML) の開発またはデータサイエンスの役割を担う個人を対象としています。この試験では、AWS クラウドを使用して、特定のビジネス上の課題に対する機械学習 ソリューションの設計、構築、デプロイ、最適化、トレーニング、チューニング、 および保守を行う受験者の能力が検証されます。 また、次のタスクについての受験者の能力も検証します。 ・ 特定のビジネス上の課題に対して適切な機械学習アプローチを選択し、その正当性を説明する。 ・ 機械学習ソリューションの実装に適した AWS のサービスを特定する。 ・ スケーラビリティ、コストの効率生、信頼性、安全性に優れた機械学習ソリューションを設計および実装する。	調査の企画・管理、ならびにデータの高度利用の業務に携わる上で必要とされる、調査企画、調査票作成、標本設計、調査の指導、調査結果の集計・分析、データの利活用の手法等に関する基本的知識と能力を評価する検定試験です。 専門統計調査士検定の合格者は、広く調査の品質の維持・向上に貢献できるのみならず、個人にとって、 （ア）学習の過程で有用な知識を整理して獲得できる （イ）調査プロジェクトの実務上の能力を有すると社内外から客観的に評価される （ウ）獲得した専門的知見と能力は調査にとどまることなく、データ解析等の関連する幅広い分野で高く評価され活用される こととなり、社会人としての高度な専門知識・能力を有していることが認定されます。	ITILは、ITサービスマネジメントのベストプラクティス（成功事例）をまとめたガイドラインで、ITサービスの品質向上、中長期的なコストの削減などを目的とし実在する企業やサプライヤ、コンサルタントなどからITサービスに関する運営方式やノウハウを収集し体系化したものです。 ITIL ファンデーションとは、ITILにおけるエントリー認定試験です。 ITIL認定資格取得のための学習を通じてITサービスマネジメントの知識が身につきます。 特にシステム運用管理業務に活かすことができ、ITサービスの品質を向上させることができます。 ※ITIL Information Technology Infrastructure Library
受験資格	受験対象者は、以下を身に付けている必要があります。 ・ 一般的なデータベーステクノロジーに関する 5 年以上の経験 ・ AWS での 2 年以上の実務経験 ・ オンプレミスおよび AWS クラウドのリレーショナルデータベースおよび NoSQL データベースでの経験と専門知識	受験対象者には、セキュリティソリューションの設計と実装の分野で 3～5 年相当の 経験が必要です。また、AWS ワークロードのセキュリティ保護の分野で 2 年以上の実務経験が必要です。	受験対象者は、AWS クラウドでの機械学習ワークロードまたは深層学習ワークロードの開発、アーキテクチャの設計、および実行における 2 年以上の実務経験が必要です。	特になし	特になし
問合せ先	AWS　HPより問い合わせ【AWS認定】https://aws.amazon.com/jp/certification/	AWS　HPより問い合わせ【AWS認定】https://aws.amazon.com/jp/certification/	AWS　HPより問い合わせ【AWS認定】https://aws.amazon.com/jp/certification/	一般財団法人 統計質保証推進協会 https://www.toukei-kentei.jp/contact/	ピアソンVUE（CBT）TEL.03-6891-0500

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	ＩＴ				
資格名	G検定	統計検定 データサイエンス エキスパート	AWS 認定ディベロッパー-アソシエイト	AWS 認定 SysOps アドミニストレーター-アソシエイト	統計検定 統計調査士
概要	G検定の「G」は「generalist」の「G」です。G検定におけるジェネラリストとは「ディープラーニングの基礎知識を有し、適切な活用方針を決定して事業応用する能力を持つ人材」と定義されています。 ディープラーニングとは、人間が自然に行うタスクをコンピューターに学習させる手法の一つです。日本語では深層学習と呼ばれます。	社会が大量のデータを生み出し、価値を創出する「データ時代」となり、データサイエンスの重要性が広く認識されるようになりました。この分野の専門的な人材に対する社会からの需要も大きくなっています。 「データサイエンス発展」を踏まえて、「データサイエンスエキスパート」では大学専門レベルでの高度な内容について、CBT方式で評価・認証します。 試験内容は、上記の数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムの応用基礎レベルのモデルカリキュラムを含むものとなります。 これによりデータサイエンスに関する専門的なスキルを客観的に評価します。	AWS Certified Developer - Associate は、AWS のコアサービス、使用、基本的な AWS アーキテクチャのベストプラクティスに関する知識と理解、および AWS を使用したクラウドベースのアプリケーションの開発、デプロイ、およびデバッグの習熟度を示します。この資格の取得に向けて準備し、取得することで、認定者はより大きな自信と信用を得ることができます。 AWS 認定開発者のいる組織は、競争上の優位性をもたらし、ステークホルダーと顧客の満足を確保するために適切な人材を確保することができます。	AWS Certified Sysops Administrator - Associateは、組織がクラウドイニシアティブを実施するための重要なスキルを持つ人材を特定して育成するのに役立ちます。 この資格を取得すると、AWS でのワークロードのデプロイ、管理、運用の経験が証明されます。	統計調査士検定は、公的統計に関して、基本的な内容を正確に理解し、適切に利用する能力を評価する検定試験です。 統計調査士に合格することは、統計の役割、統計法規、公的統計が作成される仕組み等に加えて、主要な公的統計データの利活用方法に関する正確な理解を証するものです。 合格することで、 ・取得する過程で統計に関する知識を体系的に整理して獲得できるます。 ・自信と誇りを持って統計調査や統計データに関連する業務に取り組めます。 ・公的統計に係る知識と統計データの利活用の能力が客観的に評価されるため、就業において、統計データに関連した職場、とりわけ民間調査機関で優先的に採用されやすくなる等の効果が期待されます。
受験資格	特になし	特になし	受験対象者には、AWS サービスを使用したアプリケーションの開発と保守における 1 年以上の実務経験が必要です。	受験候補者は、AWS でのデプロイ、管理、ネットワーク、セキュリティに関して 1 年以上の経験が必要です。	特になし
問合せ先	日本ディープラーニング協会運営事務局 Mail：info@jdla.org	一般財団法人 統計質保証促進協会 Mail:jssc_center@gaiss.org	AWS　HPより問い合わせ 【AWS認定】 https://aws.amazon.com/jp/certification/	AWS　HPより問い合わせ 【AWS認定】 https://aws.amazon.com/jp/certification/	一般財団法人 統計質保証促進協会 Mail:jssc_center@gaiss.org

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	ＩＴ				
資格名	統計検定 データサイエンス基礎	統計検定 データサイエンス発展	AWS認定クラウドプラクティショナー	ITパスポート試験	情報セキュリティマネジメント試験
概要	急速に進展したデジタル社会では、規模の大小に係わらず多種多様なデータを処理し、目的に応じた問題解決的思考に基づくデータアナリティクス能力が要求されます。「統計検定」では問題解決に資する統計思考力と活用力を評価する各級として確立してきました。この試験ではCBT方式である機能を活かし、具体的なデータセットをコンピュータ上に提示して、分析目的に応じて、解析手法を選択し、表計算ソフトExcelによるデータの前処理から解析の実践、出力から必要な情報を適切に読み取り、当初の問題の解決のための解釈を行う一連の能力を「データサイエンス基礎」として評価・認証します。 試験は、データサイエンスとその応用分野を専門とする大学教員と専門実務家が活用力を重視した問題を開発し、生徒・学生・一般を問わず、AI・デジタル社会の共通スキル「データサイエンス基礎」力を評価し、認証するための検定試験となっています。	社会が大量のデータを生み出し、価値を創出する「データ時代」となり、データサイエンスの重要性が広く認識されるようになりました。文部科学省も数理・データサイエンスをすべての大学生が学ぶべき分野と位置づけ、この分野の教育強化を進めています。特に「数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム」において大学における標準的なカリキュラム及びスキルセットが整備されています。 「データサイエンス基礎」を踏まえて、「データサイエンス発展」では大学教養レベルの一般的な内容について、CBT方式で評価・認証します。 試験内容は、上記の数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムのスキルセットに準拠します。これによりデータサイエンスのスキルレベルを客観的に評価します。	AWS認定 クラウドプラクティショナーは、AWS クラウドの知識とスキルを身に付け、全体的な理解を効果的に説明できる個人が対象です。その他の AWS 認定で扱われる特定の技術的役割からは独立しています。 AWS 認定クラウドプラクティショナーは、アソシエイト認定または専門知識認定を取得するために推奨される任意のステップです。	ITパスポートは、ITを利活用するすべての社会人・学生が備えておくべきITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験です。 具体的には、経営戦略、マーケティング、財務、法務など経営全般に関する知識をはじめ、セキュリティ、ネットワークなどのITの知識、プロジェクトマネジメントの知識など幅広い分野の総合的知識を問う試験です。 ITを正しく理解し、業務に効果的にITを利活用することのできる“ITカ”が身につきます。	情報セキュリティマネジメント試験は、情報セキュリティマネジメントの計画・運用・評価・改善を通して組織の情報セキュリティ確保に貢献し、脅威から継続的に組織を守るための基本的なスキルを認定する試験です。 組織作りに欠かせない情報セキュリティマネジメント人材は、業種、職種を問わず、また、営業・企画・製造・総務・人事・経理などの部門を問わず、多くの現場で強く必要とされています。
受験資格	特になし	特になし	特になし	特になし	特になし
問合せ先	一般財団法人 統計質保証促進協会 Mail:jssc_center@qaiss.org	一般財団法人 統計質保証促進協会 Mail:jssc_center@qaiss.org	AWS　ＨＰより問い合わせ【AWS認定】 https://aws.amazon.com/jp/certification/	独立行政法人 情報処理推進機構 ITパスポート試験コールセンター TEL.03-6204-2098	独立行政法人 情報処理推進機構 TEL.03-5978-7600

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	R&D		事務 他		
資格名	バイオ技術者	危険物取扱者	社会保険労務士	行政書士	日商簿記検定
概要	バイオ技術者認定試験はバイオ技術者が持つべき知識、技術を認定することを目的とした認定試験制度です。 【初級】 「基礎生物学」「基礎化学」「遺伝・育種」「食品・微生物」「植物」「バイオ実験技術」の6つの分野について、基本的な知識と実験技術を習得していることを認定します。 【中級】 遺伝子工学技術や細胞工学技術などのバイオ技術分野の基盤となる生化学、微生物学、分子生物学、遺伝子工学の知識を持ち、指導者の指示のもとでバイオ関連実験を適切かつ安全に実行しうる能力を認定します。 【上級】 バイオ技術分野の基礎（核酸、タンパク質、機器等）から、応用（微生物バイオテクノロジー、動物バイオテクノロジー、植物バイオテクノロジー）に至る幅広い知識を持ち、バイオ関連実験を適切かつ安全に実行しうる能力を認定します。	一定数量以上の危険物を貯蔵し、又は取り扱う化学工場、ガソリンスタンド、石油貯蔵タンク、タンクローリー等の施設には、危険物を取り扱うために必ず危険物取扱者を置かなければいけません。 甲種危険物取扱者は全類の危険物、乙種危険物取扱者は指定の類の危険物について、取り扱いと定期点検、保安の監督ができます。 甲種もしくは乙種危険物取扱者が立ち会えば危険物取扱者免状を有していない一般の者も、取り扱いと定期点検を行うことができます。 丙種危険物取扱者は、特定の危険物(ガソリン、灯油、軽油、重油など)に限り、取り扱いと定期点検ができます。	社会保険労務士となるためには、社会保険労務士試験の合格等により社会保険労務士となる資格を有する者が、全国社会保険労務士会連合会に備える社会保険労務士名簿に登録を受けることが必要です。 社会保険労務士の業務 1.労働社会保険諸法令に基づく申請書等及び帳簿書類の作成 2.申請書等の提出代行 3.申請等についての事務代理 4.都道府県労働局及び都道府県労働委員会における個別労働関係紛争のあっせん手続の代理 5.都道府県労働局における男女雇用機会均等法、パート労働法及び育児・介護休業法の調停の手続の代理 6.個別労働関係紛争について厚生労働大臣が指定する団体が行う裁判外紛争解決手続における当事者の代理 （紛争価額が120万円を超える事件は弁護士との共同受任が必要） 7.労務管理その他の労働及び社会保険に関する事項についての相談及び指導	行政書士とは、行政書士法第1条の2、第1条の3の規定に基づき、他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類、その他権利義務又は事実証明に関する書類を作成することを業とするものです。 行政書士の具体的な業務としては、官公庁への許認可に関する書類提出や契約書、交通事故調査報告書等、権利義務又は事実証明に関する書類作成業務などを行っています。	簿記は、企業規模の大小や業種、業態を問わずに、日々の経営活動を記録・計算・整理して、経営成績と財政状態を明らかにする技能です。 簿記を理解することによって、企業の経理事務に必要な会計知識だけではなく、財務諸表を読む力、基礎的な経営管理や分析力が身につきます。 また、ビジネスの基本であるコスト感覚も身につきますので、コストを意識した仕事ができるとともに、取引先の経営状況を把握できるために、経理担当者だけではなく、全ての社会人に役立ちます。 さらに、公認会計士や税理士等の国家資格を目指す方や他の資格・検定と組み合わせてキャリアアップを考えている方々にも必須の資格です。 等級は以下のものがあります。 ・1級 ・2級 ・3級 ・初級 初級、3級、2級はネット試験可能
受験資格	協会が指定するいずれかの条件に該当する者	乙種・丙種：特になし 甲種：一定の資格が必要	社会保険労務士試験オフィシャルサイト参照 http://www.sharosi-siken.or.jp/exam/shikaku.html	特になし	特になし
問合せ先	NPO法人 日本バイオ技術教育学会 (JABE) TEL.03-6262-8601	一般財団法人 消防試験研究センター 中央試験センター TEL.03-3460-7798	全国社会保険労務士会連合会試験センター TEL.03-6225-4880	一般財団法人行政書士試験研究センター 試験専用照会ダイヤル TEL.03-3263-7700	日本商工会議所 検定情報ダイヤル TEL.03-5777-8600

推奨資格詳細

	事務 他				
資格名	ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙﾌﾟﾗﾝﾆﾝｸﾞ技能士	全国通訳案内士	文書情報管理士	国際秘書検定	貿易実務検定
概要	ファイナンシャルプランニング技能検定試験は、厚生労働省より職業能力開発促進法に基づき、NPO法人日本FP協会と、一般社団法人金融財政事情研究会の両機関により実施するものです。顧客の収入・支出、資産・負債、保障（内容）などのデータを収集し、現状を分析したうえで、顧客のライフプラン上の目標を達成するため、貯蓄、投資、保険、年金、税金、不動産、相続などについて、長期的かつ総合的な視点でさまざまなアドバイスや資産設計を行い、併せてその実行を援助するための知識が問われます。 合格者は、国家資格「ファイナンシャル・プランニング技能士」の称号が付与されます。 また、各試験実施団体によって実技試験科目が違います。 等級には、1級、2級、3級の3つの等級があり、それぞれに学科試験と実技試験があります。	全国通訳案内士は国家試験に合格者は、高度な外国語能力や日本全国の歴史・地理・文化等の観光に関する高い知識を有するものであり、「全国通訳案内士」として都道府県の登録を受けた者になります。 通訳案内士試験の外国語の種類は、英語、フランス語、スペイン語、ドイツ語、中国語、イタリア語、ポルトガル語、ロシア語、韓国語及びタイ語となっています。 全国通訳案内士（通訳ガイド）は、単に語学力が優秀であるだけでなく、幅広い知識、教養を持って日本を紹介するという重要な役割を負っています。外国人旅行者に日本の良い印象を持って帰ってもらうことは、正しい日本理解の第一歩となり、全国通訳案内士（通訳ガイド）の仕事は、“民間外交官”とも言える国際親善の一翼を担うやりがいのある仕事です。 語学関連の唯一の国家資格です。	文書情報管理士は、最適な書類の電子保存の方法を理解し、文書の大切さを伝えるエキスパートのための資格です。 その合格者は文書情報マネジメントの専門家としての権威が与えられ、有益な資格となります。文書情報管理士にはその能力レベルにより、２級、１級、上級の３つの資格があります。 ２級試験が文書情報管理士としての基礎的な知識と技術を検定するのに対して、１級試験では専門的な知識と技術を、また上級ではさらに応用的なコンサルティングの能力までを検定します。 資格を取得することにより、主にオフィスで取り扱う文書類、帳票類、伝票類、技術資料、図面などをコンピュータの画面で見ることができるようにするためにスキャニングしたり、また大量の書類を効率よく安全に長期保管するためにマイクロフィルムに撮影したりするための技術を取得します。 5年ごとの更新が必要になります。	CBS（国際秘書）検定試験は、英語と日本語をコミュニケーションの手段として使いこなし、実務処理能力、人間性ともに優れたオフィスプロの育成を目的としています。1979年に第1回CBS検定試験が実施されて以来、バイリンガルで仕事をするオフィスプロの実力を証明する資格として広く認められています。 企業活動がグローバルに展開される今日、ビジネス国際語である英語と、正しい日本語の知識と応用力をそなえたバイリンガルスタッフはますます必要とされています。CBSあるいは準CBSに認定された人たちが今や各方面で活躍しています。CBSは経営サポートスタッフに必要な英語と日本語の実力を問う唯一の検定試験です。 試験は、CBSプライマリー試験とCBSファイナル試験があります。CBSプライマリー試験合格者には、「準CBS(CBS Associate)認定証」授与されます。	貿易実務に関しての能力や知識がどのくらいのレベルかを客観的に測定する検定試験です。A～Cの3つの級があり、輸出入に関する実務に必要な知識とスキルを学べます。 学習範囲は、マーケティングや商談から、代金決済やクレーム対応までと幅広い内容です。通関にかかわる書類の取り扱いや、英文のビジネスレター作成などの技能も試されます。貿易実務の資格が注目されるようになった背景には、貿易の自由化に伴い、貿易量が増加し、貿易実務の知識やスキルが豊富な人が必要になってきたことがあります。
受験資格	2級：FP協会が指定するいずれかの条件を満たす者 1級：学科のみ合格かFP技能士	特になし	・２級：特になし ・１級：２級文書情報管理士資格を有する者 ・上級：１級文書情報管理士資格を有する者	CBS資格：準CBS取得者	特になし
問合せ先	特定非営利活動法人日本ファイナンシャルプランナーズ協会試験業務部 TEL.03-5403-9890	日本政府観光局(JNTO) 運営：日本出版販売株式会社内 全国通訳案内士試験事務局 TEL.03-3518-9018	公益社団法人 日本文書情報マネジメント協会 HP：https://www.jiima.or.jp/ E-mail：kenteishiken@jiima.or.jp	一般社団法人 日本秘書協会（JSA）CBS検定係 TEL.03-5772-0701 E-mail：cbs@hishokyokai.or.jp	日本貿易実務検定協会® 事務局 （株）マウンハーフジャパン内 TEL.03-6279-4730 Email:info@boujitsu.com

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	事務 他				
資格名	通関士	日商PC検定	証券外務員	衛生管理者	医療通訳技能認定試験
概要	通関士とは、輸出入されている物品の輸出入者が通関手続（税関への手続）を通関業者に依頼をした際に通関手続きの代理代行並びに税関への申請をするのに必要な財務省管轄の国家資格、またはその資格を持ち税関から通関士の確認を受けて勤務している者を指します。 また通関士試験とは、通関士として勤務しようとする際に税関へ通関士資格の証明確認をしなければならないが、その通関士資格を認定するための財務省管轄の国家試験です。	本検定試験は、主としてビジネス文書の作成、取り扱いを問う「日商ＰＣ検定試験（文書作成）」と、主として業務データの活用、取り扱いを問う「日商ＰＣ検定試験（データ活用）」と、目的に応じた適切で分かりやすいプレゼン資料を作成できるかを問う「日商ＰＣ検定試験（プレゼン資料作成）」の三分野で、それぞれ別々の試験であり、三分野全部の資格がほしい場合は、それぞれ別々に試験を受ける必要があります。 等級は以下のものがあり各級によって基準・出題範囲が決まっています。 ・1級 ・2級 ・3級 ・Basic	有価証券の募集や勧誘、売買等の証券業務ができる資格です。 金融機関（証券会社、銀行、生保、損保等）の営業職員として働くには必須の資格であるため、資格の取得者は即戦力としてみなされます。 協会員の外務員として登録を受けるために必要となる資格試験です。 一種外務員資格試験に合格すると、一種外務員資格が、二種外務員資格試験に合格すると、二種外務員資格が付与されます。 一種外務員資格は、二種外務員で扱う商品の他、デリバティブ取引、信用取引などを取り扱うことができます。	衛生管理者は、労働者の健康障害や労働災害を防止するために、労働安全衛生法で定められた国家資格です。 常時50人以上の労働者を使用する事業場では、衛生管理者免許を有する者のうちから労働者数に応じ一定数以上の衛生管理者を選任し、安全衛生業務のうち、衛生に係わる技術的な事項を管理させることが必要です。 第一種衛生管理者免許を有する者は、すべての業種の事業場において衛生管理者となることができます。 第二種衛生管理者免許を有する者は、有害業務と関連の少ない情報通信業、金融・保険業、卸売・小売業など一定の業種の事業場においてのみ、衛生管理者となることができます。 主な職務は、労働者の健康障害を防止するための作業環境管理、作業管理及び健康管理、労働衛生教育の実施、健康の保持増進措置などです。	日本の医療機関を受診する外国人患者に対して言語によるコミュニケーションを支援するための資格です。 医療機関等において専門的な要素を含んだ医療通訳業務に従事している方から、ボランティア等で基礎的な内容の医療通訳業務にあたっている方、これから医療通訳者を目指す方まで、レベルに応じた能力評価を行うため、「医療通訳専門技能認定試験」・「医療通訳基礎技能認定試験」の2種類の試験を設定しています。
受験資格	特になし	特になし	特になし	・大学または高等専門学校（短大を含む）を卒業し、労働衛生の実務経験が1年以上ある者 ・高等学校を卒業し、労働衛生の実務経験が3年以上ある者 ・労働衛生の実務経験が10年以上ある者	以下のいずれか一つに該当する者 ・医療通訳スクールの講座修了者 ・医療通訳の実務経験2年以上（1級） ・医療通訳の実務経験１年以上（２級） ・試験委員会が前各号と同等と認めたもの
問合せ先	財務省ＨＰ https://www.customs.go.jp/tetsuzuki/c-answer/shiken/shikencontents_ir.htm	日本商工会議所検定情報ダイヤル TEL.03-5777-8600	社団法人日本証券業協会 TEL.03-3667-8451 プロメトリック株式会社(外務員資格試験) TEL.03-6204-9728	公益財団法人安全衛生技術試験協会本部 TEL.03-5275-1088 北海道・東北・関東・中部・近畿・中四国・九州 各地：安全衛生技術センター	一般財団法人 日本医療教育財団 TEL.03-3294-6624

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	事務 他				
資格名	秘書技能検定	VBA エキスパート	医療事務(各種)	医師事務作業 補助者	MOS Excel Expert
概要	「表情」「態度」「振る舞い」「言葉遣い」「話し方」といった部分は人柄の印象を大きく左右します。 秘書検定では、このような印象に関わるマナーや一般常識が学べます。さらに、効率よく仕事をこなす方法や文書作成など、事務処理の技能を身につけられるのも特徴です。 秘書検定は、1級、準1級、2級、3級の4段階があります。1級、準1級は二次試験として面接試験があります。	VBAとは、ExcelやAccessなどのアプリケーションに、指示した通りの処理を実行させる機能をマクロといいます。 VBAは、マクロにExcelやAccessへの指示を記述するための言語で、Visual Basicをベースに、マイクロソフト オフィス製品用に開発されたプログラミング言語です。 VBAを使うことで、ExcelやAccessを自在に制御することが可能になるので、ルーティンワークの自動化や大量データの一括処理、または業務システムの開発など、企業内で多岐にわたって活用されています。 以下の２つの認定資格があります。 ・Excel VBA ベーシック ・Excel VBA スタンダード ※VBA Visual Basic for Applications	医療事務技能審査をベースに、医療関連・介護関連の各種技能認定を実施。専門家として能力を発揮するために必要な資格がトータルに、効率よく取得できるシステムが構築されています。 医療事務の資格は、補足資格を含めると35種類以上あり、医療事務というくくりの中でさまざまな資格が存在します。 ・医療事務技能審査 ・医事業務管理技能認定試験 ・医事オペレータ技能認定試験 ・医療秘書技能認定試験 ・診療情報管理技能認定試験 ・医療通訳技能認定試験【専門／基礎】 ・クリニック事務技能認定 ・調剤報酬請求事務技能認定 ・歯科助手技能認定 ・メディカル フロントコンシェルジュ技能認定 ・産前産後ヘルパー技能認定 ・ベビーシッター技能認定 ・ケアクラーク技能認定試験 ・介護基礎技能認定	医師の業務負担を軽減するために、医師に代わって事務作業を行なう必要性が高まっています。 この医師事務作業補助者に求められている業務は、医師の指示の下で、診断書や紹介状を記載したり、医師に代わって電子カルテを入力するなど、幅広い専門知識が必要とされるものです。 医師事務作業補助者実務能力認定試験は、医師事務作業補助者に必要な、関連法規、医学知識、個人情報保護法、医療用語、文書作成、電子カルテ等に関する知識、および文書作成能力を客観的に判断するものです。	MOSは、Microsoft Office製品の操作スキルを証明できる国際資格です。 試験は、本物のアプリケーションソフトをマウスやキーボードで操作して解答します。MOSを取得すると、Office製品を使いこなすスキルが身につき、その実践力を客観的に証明できます。 ピボットテーブルなどのデータ分析、条件付き書式や入力規則の設定、マクロの作成・編集など、Excelでの高度な機能を理解している方を対象とした資格です。 バージョンによる試験区分 ・Excel 365＆2019 ・Excel 2016 ・Excel 2013 Part1、Part2
受験資格	特になし	特になし	原則、特になし 資格により実務経験等が必要	特になし	特になし
問合せ先	財団法人実務技能検定協会　秘書検定部 〒169-0075　東京都新宿区高田馬場1-4-15 http://www.hisho.kentei.or.jp/	オデッセイ コミュニケーションズ カスタマーサービス TEL.03-5293-1881	一般財団法人日本医療教育財団 TEL.03-3294-6624	特定非営利活動法人 全国医療福祉教育協会 TEL.03-5925-6548	株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ TEL.03-5293-1888

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	事務 他				
資格名	MOS Word Expert	MOS PowerPoint Specialist	kintone CERTIFIED 各種	ビジネス実務法務検定	FUNDAMENTALS 認定資格 Microsoft 365 Certified: Fundamentals
概要	MOSは、Microsoft Office製品の操作スキルを証明できる国際資格です。 試験は、本物のアプリケーションソフトをマウスやキーボードで操作して解答します。MOSを取得すると、Office製品を使いこなすスキルが身につき、その実践力を客観的に証明できます。 スタイル機能や目次・索引作成などの長文機能、他のアプリケーションソフトからのデータ取り込みなど、Wordでの高度な機能を理解している方を対象とした資格です。 バージョンによる試験区分 ・Word 365&2019 ・Word 2016 ・Word 2013 Part1、Part2	MOSは、Microsoft Office製品の操作スキルを証明できる国際資格です。 試験は、本物のアプリケーションソフトをマウスやキーボードで操作して解答します。MOSを取得すると、Office製品を使いこなすスキルが身につき、その実践力を客観的に証明できます。 PowerPointの主な機能を利用して、スライドマスターや配布資料マスターの編集、書式設定、アニメーションや画面切り替え効果の設定、スライドショーの設定、アウトライン文書の挿入、ズーム機能の使用、印刷の設定など、さまざまな目的や状況に応じてプレゼンテーションを作成・編集できる方を対象とした資格です。 バージョンによる試験区分 ・PowerPoint 365 & 2019 ・PowerPoint 2016 ・PowerPoint 2013	kintone（キントーン）は、サイボウズ株式会社が提供するクラウドサービスです。 kintone（キントーン）は、開発の知識がなくても自社の業務に合わせたシステムを簡単に作成できる、サイボウズのクラウドサービスです。業務アプリを直感的に作成でき、チーム内で共有して使えます。 社員間のつながりを活性化する社内SNSとしての機能も備えているため、スピーディーに情報共有ができます。 認定資格は、専門分野やスキルレベルによって4段階6種類に分かれており、 アソシエイトから順に上位資格を受験する構成となっています。 ・kintone CERTIFIED ｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ ｴｷｽﾊﾟｰﾄ ・kintone CERTIFIED ｱﾌﾟﾘﾃﾞｻﾞｲﾝ ｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ ・kintone CERTIFIED ｶｽﾀﾏｲｽﾞ ｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ ・kintone CERTIFIED ｱｿｼｴｲﾄ	あらゆる業種に通用する法律知識を正しく学ぶことを目的として創設された資格です。 取引先との契約書の締結、会社法に基づく企業財産の管理、あるいは労働基準法に準じた雇用契約書の策定など、いずれも正しい法的知識なしでは業務の遂行はままなりません。社内にひとりでも多くの法律に精通した人材がいれば、契約書の不備で会社が不利益を被るなどのリスクを回避できます。ビジネス実務法務検定は、そうした企業活動になくてはならない人材の育成を目指す資格です。 ビジネス実務法務検定試験®には3級・2級・1級があります。	この認定資格は、ビジネスユーザー、管理者、新米技術者を問わず、クラウド エバンジェリストとしての能力を示す機会を提供します。 この認定資格を取得すると、Microsoft 365 の機能に関する知識を検証するのに加え、クラウド サービスを導入する利点、サービスとしてのソフトウェア (SaaS) クラウド モデルの基本、Microsoft 365 クラウド サービスを実装する価値を理解していることが組織に対して明確に示されます。 評価されるスキル： ・クラウドの概念について説明する ・Microsoft 365 の主要なアプリとサービスについて説明する ・Microsoft 365 のセキュリティ、コンプライアンス、プライバシー、信頼について説明する ・Microsoft 365 の価格、ライセンス、サポートについて説明する
受験資格	特になし	特になし	・ｱｿｼｴｲﾄ：特になし ・ｱﾌﾟﾘﾃﾞｻﾞｲﾝ ｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄおよびｶｽﾀﾏｲｽﾞ ｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ：ｱｿｼｴｲﾄ合格 ・ｼｽﾃﾑﾃﾞｻﾞｲﾝ ｴｷｽﾊﾟｰﾄ：ｶｽﾀﾏｲｽﾞ ｽﾍﾟｼｬﾘｽﾄ 合格	特になし 2級からの受験、並行受験も可能	試験 MS-900: Microsoft 365 基礎を受験合格することにより認定
問合せ先	株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ TEL.03-5293-1888	株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ TEL.03-5293-1888	kintone認定資格制度　問い合わせ https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/kintone.aspx	東京商工会議所 https://kentei.tokyo-cci.or.jp/inquiry.html	Micorsoft 認定サポート https://learn.microsoft.com/en-us/certifications/help

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	コンサルティング				
資格名	ASSOCIATE認定資格 Microsoft 365 Certified: Teams Administrator Associate	中小企業診断士	キャリア コンサルタント	情報処理技術者 国家資格 （SM, PM, ST）	PMPⓇ（Project Management Professional）
概要	Microsoft Teams 管理者は、Microsoft Teams と Microsoft 365 を使用して安全で効率的で効果的な内部と外部のコラボレーションとコミュニケーションの機能を提供します。 この認定資格の受験者は、Microsoft Teams でチーム、チャネル、チャット、アプリ、通話、会議、イベントを計画、展開、構成、管理できる必要があります。 主に管理するのは、Teams 電話と会議室デバイスの運用面です。 測定されるスキル： ・MS Teams 環境を計画して管理 ・チャット、チーム、チャネル、アプリを管理 ・通話と会議を管理 ・MS Teams 環境を監視、レポート、トラブルシューティング	中小企業診断士は、中小企業の経営課題に対応するための診断・助言を行う専門家です。法律上の国家資格として、「中小企業支援法」第11条に基づき、経済産業大臣が登録します。 中小企業診断士制度は、中小企業者が適切な経営の診断及び経営に関する助言を受けるに当たり、経営の診断及び経営に関する助言を行う者の選定を容易にするため、経済産業大臣が一定のレベル以上の能力を持った者を登録するための制度です。 中小企業基本法では、中小企業者が経営資源を確保するための業務に従事する者（公的支援事業に限らず、民間で活躍する経営コンサルタント）として位置づけられています。	「キャリアコンサルタント」とは、学生、求職者、在職者等を対象に職業選択や能力開発に関する相談・助言を行う専門職です。 「キャリアコンサルタント」は、平成28年４月より国家資格になりました。キャリアコンサルタントは登録制の名称独占資格とされ、守秘義務・信用失墜行為の禁止義務が課されています。 これにより、職業に関する相談を今まで以上に安心してできるようになりました。 キャリアコンサルタントは、企業、需給調整機関（ハローワーク等）、教育機関、若者自立支援機関などの幅広い分野で活躍しています。 キャリアコンサルタントになるためには、キャリアコンサルタント試験に合格し、キャリアコンサルタント名簿に登録することが必要となります。 また、キャリアコンサルタントは５年ごとに更新を行い、最新の知識・技能を身につける必要があります。	情報処理技術者試験は、経済産業大臣が実施する情報処理に関する業務を行う者の技術の向上に資するため、情報処理に関して必要な知識及び技能を問う、国家試験です。 ・ITサービスマネージャ試験(SM)： 顧客ニーズを踏まえ、日々の継続的改善を通じて安全性と信頼性の高いITサービスを提供し、IT投資効果を最大化できるITサービスマネージャを目指す方に最適です。 ・プロジェクトマネージャ試験(PM)： プロジェクトを取り巻く環境変化やステークホルダの多様な要求に柔軟に対応しながら、プロジェクトを確実に成功に導くマネージャを目指す方に最適です。 ・ITストラテジスト試験(ST)： 経営戦略に基づいてIT戦略を策定し、ITを高度に活用した事業革新、業務改革、及び競争優位を獲得する製品・サービスの創出を企画・推進して、ビジネスを成功に導くCIOやCTO、ITコンサルタントを目指す方に最適です。	PMPⓇ とは、PMI 本部が認定しているプロジェクトマネジメントに関する国際資格です。 PMPⓇ 試験は、受験者のプロジェクトマネジメントに関する経験、教育、知識を測り、プロフェッショナルとしての確認を目的として実施されます。 PMPⓇ 資格は、プロジェクトマネジメントに関する資格のデファクト・スタンダードとして広く認知されており、プロジェクトマネジメント・スキルの評価基準として、IT・建設をはじめとする多くの業界から注目されています。 資格の取得によって、スキルアップ（体系的な仕事の進め方が身につくため、飛躍的に業務の効率化）や、ご自分の経験を体系的なプロジェクトマネジメントの方法論として再整理できます。
受験資格	試験 MS-700: Managing Microsoft Teams を受験合格することにより認定	特になし	下記のいずれかに該当する者 ・厚生労働大臣が認定する講習の課程を修了した者 ・労働者の職業の選択、職業生活設計又は職業能力開発及び向上のいずれかに関する相談に関し３年以上の経験を有する者 ・技能検定キャリアコンサルティング職種の学科試験又は実技試験に合格した者 ・上記の項目と同等以上の能力を有する者	特になし	学歴毎に合わせた一定期間の事務経験が必要
問合せ先	Micorsoft 認定サポート https://learn.microsoft.com/en-us/certifications/help	一般社団法人 中小企業診断協会 TEL.03-3563-0851	特定非営利活動法人キャリアコンサルティング協議会 TEL.03-3480-3711 特定非営利活動法人日本キャリア開発協会 キャリアコンサルタント試験受験サポートセンター TEL:03-5209-0553	独立行政法人情報処理推進機構 TEL.03-5978-7600	PMIアジアパシフィックサービスセンター https://www.pmi-japan.org/page-20/

推奨資格詳細

	コンサルティング				
資格名	kintone CERTIFIED カイゼンマネジメントエキスパート	企業経営アドバイザー	P2M認定資格 各種 (PMR,PMS,PMC)	ビジネス・キャリア検定	日本PMO協会認定資格（PJM-A,PMO-S）
概要	kintone（キントーン）は、サイボウズ株式会社が提供するクラウドサービスです。 kintone認定カイゼンマネジメントエキスパートは、チームのための継続的な業務改善を推進することができるスキルがあることを証明します。 本資格は、「小論文」と「実績登録」を総合的に判定する試験となります。 「小論文」と「実績登録試験」が合格基準に達した後に、「確認試験」に合格することでkintone認定 カイゼンマネジメントエキスパートとして認定されます。	企業経営アドバイザーは、企業と地域社会に寄り添う「実践型コンサルタント」の資格です。 中小企業の課題に真正面から取組み、地域の経営者に助言を行い経営支援に取組むことで地域の活性化や地方創生に資する人材として位置づけられるのが企業経営アドバイザーです。 検定試験は、企業経営に関する専門知識を問う「知識科目」と事業性評価※の具体的手法を問う「実践科目」で構成されており、企業経営の実務的知識および能力を証明できる内容となっています。なお、企業経営アドバイザー検定は内閣府が後援しています。 検定試験合格者は、経営者との対話スキルを身につける「対話力向上講習」を修了することで、「企業経営アドバイザー」として認定されます。	P2Mは、2001年に発行した、日本発の「プロジェクト＆プログラムマネジメント標準ガイドブック」で、日本版PM体系です。様々な業種の事業責任者や組織内の管理者が受験されます。 ・プログラム マネジャーレジ スタード(PMR)：P2Mに関する基礎・応用知識とともに高度な実務経験を保有し、かつPMS又はそれに準じた資格を有するもので、プログラムマネジャーとして、高度な価値創造事業を主導して、組織的な実践力の発揮を期待できる ・プロジェクトマネジメントスペシャリスト(PMS)：プログラム＆プロジェクトマネジメント（P2M）の実践に必要な基礎的知識、管理技術を幅広く体系的に習得し、価値創造にむけたマネジメント実践力を持つ ・プロジェクトマネジメントコーディネータ(PMC)：プロジェクトを推進する遂行実務者、リーダー候補者など、PMを実行する上で必須のコア知識を有する	ビジネス・キャリア検定は、職務を遂行する上で必要となる知識の習得と実務能力の評価を行うことを目的とした試験です。 １級、２級、３級、BASIC級に分かれています。 ・1級 実務経験10年以上（部長、ディレクター相当職を目指す方）のための試験。 企業全体の戦略の実現のための課題を創造し、求める目的に向かって効果的・効率的に働くために、一定の専門分野の知識及びその応用力を活用して、資源を統合し、調整することができる。 ・2級 実務経験５年程度（課長、マネージャー相当職を目指す人）のための試験。 当該分野又は試験区分に関する幅広い専門知識を基に、グループやチームの中心メンバーとして、創意工夫を凝らし、自主的な判断・改善・提案を行うことができる。	一般社団法人日本PMO協会（NPMO）では,プロジェクトマネジメント力の証明を目的とした認定資格を発行しています。 即実践型の学習内容、そして時間と場所の制約がないオンライン完結型の学習環境・受験環境をご提供しています。 PMO（プロジェクトマネジメントオフィス）とは、「組織内における個々のプロジェクトマネジメントの支援」を行う構造システムであり、組織的なPM能力の向上に貢献する重要な役割を担っています。 そこで活躍する人材には、組織のプロジェクトマネジメントの支援を通じてプロジェクトの成功率を高めるビジネススキルが期待されています。 ・プロジェクトマネジメント・アソシエイト（PJM-A） ・PMOスペシャリスト(★)認定資格 ・PMOスペシャリスト(★★)認定資格
受験資格	kintone認定 アプリデザインスペシャリストに合格していること	特になし	資格毎に設定された前提資格取得・実務経験の条件あり	特になし	指定のNPMO認定教材での学習を修了した者
問合せ先	kintone認定資格制度　問い合わせ https://www.pearsonvue.co.jp/Clients/kintone.aspx	一般社団法人日本金融人材育成協会 TEL03-5276-2231 E-mail:info@kigyou-keiei.jp	特定非営利活動法人日本プロジェクトマネジメント 問い合わせフォーム https://www.pmai.or.jp/ssl/kyoukai/contact100/contact.html	中央職業能力開発協会 ビジネス・キャリア検定試験運営事務局 03-6627-6504	一般社団法人 日本PMO協会 TEL050-3631-2610 https://www.npmo.org/

※試験日程、申し込み時期は、HPで確認してください。

推奨資格詳細

	コンサルティング			
資格名	ＪＡＤＰ認定メールマナーインストラクター®資格	Micorosoft認定：Power BI データ アナリスト アソシエイト	Micorosoft認定：Power Automate RPA Developer Associate	Micorosoft認定：Power Platform Fundamentals
概要	ＪＡＤＰ認定メールマナーインストラクター®は、ビジネスにおけるメール対応の技術・知識を身につけ、状況に合わせた素早く柔軟なメールのやりとりができるスペシャリストです。 ビジネスメールの基本を熟知し、相手に合わせた「伝わる」メールの作成方法、好感度が高まるポジティブな言い回し、信頼度が上がる正確かつ気遣いのできるワンランク上のメール対応、あらゆるメール場面に応じた「対応力」を習得したことを証明します。 社内外において良好な人間関係を構築したい、メール処理の高速化により生産性を上げたいビジネスパーソンはもちろんのこと、メールの技術・知識を教え、問題解決力と指導力を身につけたインストラクターとして活躍したいと考えている方のための資格です。	Power BI データ アナリストは、ビジネスの利害関係者と密接に連携して、ビジネス要件を特定します。 エンタープライズ データ アナリストやデータ エンジニアと協力して、データを特定し、取得します。 また、Power BI を使用して、データの変換、データ モデルの作成、データの視覚化、資産の共有を行います。 認定者は、利用可能なデータを操作し、特定分野の専門知識を適用して、実用的な分析情報を提供できます。 また、理解しやすいデータの可視化によって意味のあるビジネス価値を提供し、他のユーザーがセルフサービス型の分析を実行できるようにします。さらに、使用するソリューションを展開および構成します。	この認定資格は、組織のための自動化ソリューションを提供することに関心がある開発者の方に最適です。 Microsoft Power Automate を使用して、時間のかかる繰り返しタスクを自動化する方法について理解している必要があります。 ソリューションの要件の確認、プロセス ドキュメントの作成、ソリューションの設計、開発、トラブルシューティング、評価を行う必要があります。 以下の経験が必要です。JSON、クラウド フロー、デスクトップ フロー。ソリューションと REST および SOAP サービスの統合。Microsoft Excel、VBScript、Visual Basic for Applications (VBA) を使用したデータの分析。HTML、JavaScript。1 つ以上のプログラミング言語。フローの正常性の監視と理解。Microsoft Power Platform の一連のツール (AI Builder、Power Apps、Dataverse、Power Virtual Agents)。	この認定資格は、Microsoft Power Platform のビジネス価値と製品機能に関する知識を証明します。 シンプルな Power Apps の作成、Microsoft Dataverse を使用したデータ接続、Power BI ダッシュボードの構築、Power Automate によるプロセスの自動化、Power Virtual Agents を使用したチャットボットの構築が含まれます。 この基本認定資格は、他の認定資格に進むことに関心がある方にとっての足がかりとして役立ちます。
受験資格	協会指定の認定教育機関の全カリキュラムを修了した者	試験 PL-300: Microsoft Power BI Data Analystを受験合格することにより認定	試験 PL-500: Microsoft Power Automate RPA 開発者を受験合格することにより認定	試験 PL-900:Microsoft Power Platform 基礎を受験合格することにより認定
問合せ先	一般財団法人 日本能力開発推進協会 TEL050-3665-9715	Micorsoft 認定サポート https://learn.microsoft.com/en-us/certifications/help	Micorsoft 認定サポート https://learn.microsoft.com/en-us/certifications/help	Micorsoft 認定サポート https://learn.microsoft.com/en-us/certifications/help